

令和 6 年 度

事業報告書

社会福祉法人

草加市社会福祉事業団

目 次

総 括	・ ・ ・ ・ ・	1 頁
事 務 局	・ ・ ・ ・ ・	4 頁
草 加 市 立 養 護 老 人 ホ ー ム 松 楽 苑	・ ・ ・ ・ ・	9 頁
草加市障害福祉サービス事業所つばさの森	・ ・ ・ ・ ・	15 頁
草加市総合福祉センターであいの森	・ ・ ・ ・ ・	21 頁
草加市在宅福祉センターきくの里	・ ・ ・ ・ ・	37 頁
介 護 総 合 支 援 セ ン タ ー	・ ・ ・ ・ ・	42 頁
草加市高年者福祉センターふれあいの里	・ ・ ・ ・ ・	49 頁
草加市障害者グループホームひまわりの郷	・ ・ ・ ・ ・	56 頁
障 害 者 総 合 支 援 セ ン タ ー	・ ・ ・ ・ ・	60 頁
生 活 介 護 事 業 所 そ よ か ぜ の 森	・ ・ ・ ・ ・	69 頁

総 括

中期経営基本計画の2年目として、中長期的なビジョンを見据え社会福祉事業の担い手として地域における中核的かつ先駆的な役割を果たすため、草加市や各関係機関と連携し利用者本位の福祉サービスの提供や地域共生社会の実現に努めました。

当事業団の主要資源である「人財」を最大限に有効活用するため、草加市や各施設・事業所において利用者ニーズを把握し、より安心・安全な福祉サービスの提供が可能となるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和6年度の主な取組としては、地域の福祉ニーズ、SDGsの推進、職員の働き方等、時代に即した事業運営ができるよう、全事業所で事業の総点検を実施しました。日常業務を見直すことでの業務の効率化、新たな視点での公益的取り組みの発案等の成果があり、福祉サービスの提供がより充実したものになるよう努めました。

I 安心・安全な専門性の高いサービス

草加市や草加市社会福祉ネットワーク、その他関係機関との連携を強化し、各事業についても指定管理者や業務の受託者としての自覚と責任を持って安心・安全な運営を行う中、より良いサービスの提供と信頼される施設と事業の運営を図るため、職員一丸となって経営の改善及びサービスの充実・向上に努めました。

II 地域との共生

地域共生社会の実現に向けて、地域包括支援センターや基幹相談支援センターなどの専門的な相談窓口だけではなく、施設に来館された利用者やご家族の様子や状態に応じ対応できるよう、であいの森、きくの里、ふれあいの里では地域の相談窓口として「何でも相談」を実施し、必要に応じて関係機関と連携しました。

III 経営基盤の確立について

安定した経営を実現するために、公募型見積合わせ及び一般競争入札を実施し、広く参加業者を募ることで経費節減に努めました。

利用者ニーズの多様化に対応するため、研修等により職員のスキルアップを行い、加算による増収に努めました。

IV 経営の透明性の確保と継続的な改善

法人経営の透明性を確保するうえで、顧問税理士、社会保険労務士、労働基準監督署、草加市福祉部局等に適宜相談し、内部統制機能を強化し、健全な事業運営や適正な財務諸表の作成に努めました。

また、ホームページやフェイスブック等では、よりわかりやすく伝える工夫として施設紹介動画を取り入れ、事業団の広報誌は、草加市内全戸配布を2回実施するなど、広報活動を強化しました。

V 人材の確保・育成について

人材の確保については、不足する福祉人材を確保するため、職員紹介制度及び職場体験会を継続的に実施するとともに、草加市社会福祉ネットワークにおいて合同就職面接会を開催し、採用につなげることができました。

また、人材の育成面についても、事業団主催の新人職員研修や他機関が開催する外部研修（オンライン研修含む）などを積極的に取り入れ職員の意識改革や資質の向上を図りました。

VI 安全対策について

草加市や関係機関等と連携し、福祉避難所としての役割を再確認するとともに、非常災害対策計画をもとに、有事に職員が適切な行動がとれるよう防災対策を図りました。

また、災害時に備え、避難確保計画のもと職員による避難経路の安全点検や取り組む業務の明確化を図るとともに、利用者を含めた定期的な避難訓練等を行い、職員の危機管理意識と災害対応スキル向上に努めました。

組織一覧

(単位：人)

組 織 名	所 在 地	開設年度	入所定数	職員数
事 務 局	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	昭和 6 3 年	—	6 (4)
養 護 老 人 ホ ー ム 松 楽 苑	草加市柿木町 1 8 8 番地	昭和 5 1 年	5 0	8 (12)
障害福祉サービス事業所つばさの森	草加市柿木町 1 1 0 5 番地 2	平成元年	8 0	10 (13)
総合福祉センターであいの森	草加市柿木町 2 6 1 番地 1	平成 4 年	—	8 (19)
在宅福祉センターきくの里	草加市谷塚上町 7 0 4 番地 3	平成 1 3 年	—	5 (1)
介護総合支援センター	草加市瀬崎 五丁目 2 0 番 1 6 号	令和 6 年	—	12 (1)
高年者福祉センターふれあいの里	草加市新里町 1 0 6 番地 6	平成 1 7 年	—	4 (3)
障害者グループホームひまわりの郷	草加市柿木町 1 1 0 4 番地	平成 2 2 年	3 0	9 (24)
障 害 者 総 合 支 援 セ ン タ ー	草加市栄町二丁目 1 番 3 2 号 ストーク草加式番館 1 階	平成 2 2 年	—	9 (8)
生活介護事業所そよかぜの森	草加市柿木町 1 2 1 3 番地 1	平成 2 9 年	4 0	14 (10)
※ 職員数については、令和 7 年 3 月 31 日現在			合 計	85
※ () 内は、契約職員及び臨時職員の数で外書き				(95)

事 務 局

I 概要

事務局は、各施設・事業所において利用者ニーズに沿った安心・安全な福祉サービスの提供ができるよう、その支援体制の整備・確立に努めました。

令和6年度は、事業団の施設概要や活動内容、採用情報などを草加市民や関係機関に広く周知するため、広報誌の草加市内全戸配布を2回実施し、多くの反響をいただくことができました。

また、不足する福祉人材を確保するため、職員紹介制度や職場体験会を継続的に実施し、安定的かつ持続的な事業運営に努めました。

1 評議員会、理事会及び監査

事業計画、予算、事業報告及び決算のほか、法人運営上重要な事項については、評議員会及び理事会を適宜開催し、審議の上、原案どおり議決を得ました。

また、業務執行の状況及び財産の状況（会計経理）の適正を期するため、監事監査を実施しました。

2 効率的、効果的な経営の推進

経営会議を定期的で開催し、各施設の事業において、様々な課題等を会議の場で共有し、解決に向けた議論をすることで、適正かつ効率的な事業の運営に努めました。

また、人事評価制度を活用し、各施設との綿密な連携の下、職員の資質やモチベーションの向上を図りました。

3 職員研修

事業団の即戦力として活躍が期待される新人職員を対象に内部研修を実施するとともに、他機関が開催する外部研修をオンライン形式含め、積極的に参加しました。

また、草加市社会福祉ネットワークの事務局として、研修を企画・実施し、各種研修を通じて職員の意識改革と資質の向上に努めるとともに、利用者が安心して利用できる施設サービスの充実・向上に努めました。

Ⅱ 評議員、役員及び評議員選任・解任委員一覧表

1 評議員

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	選任団体等
評議員	齋 藤 幸 子	ボランティア草加連絡協議会
評議員	伊 藤 寿 夫	草加市福祉部（副部長）
評議員	清 田 幸 子	草加市民生委員・児童委員協議会
評議員	猪 俣 裕 嗣	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	森 永 功	社会福祉法人草加市社会福祉協議会
評議員	鈴 木 邦 之	社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 そうか光生園
評議員	浅 古 臣 男	学識経験者（事業団OB）
評議員	佐々木 一 男	草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森保護者会
評議員	大 矢 浩 子	草加地区保護司会
評議員	岡 田 卓 也	公益社団法人草加市シルバー人材センター

任期：令和 7 年(2025 年)定時評議員会まで

2 役員（理事及び監事）

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	選任団体等
理事長	瀬 戸 百合子	草加市長
副理事長	大 熊 博 之	草加市健康福祉部（部長）
常務理事	下 国 季 樹	学識経験者
理事	浅 見 宗 久	学識経験者
理事	関 島 和 子	草加市身体障害者福祉協会
理事	秋 山 恵美子	社会福祉法人光陽会
理事	深 井 薫	施設長
理事	星 野 勇 治	草加市民生委員・児童委員協議会
理事	山 崎 修	草加商工会議所
監事	武 田 康 成	税理士
監事	青 木 喬	地域福祉関係者

任期：令和 7 年(2025 年)定時評議員会まで

3 評議員選任・解任委員

(令和7年3月31日現在)

役職名	氏 名	選任基準
委員長	青 木 喬	監事
委 員	金 子 敏 和	外部委員
委 員	竹 城 満 博	事務局員

任期：令和7年(2025年)定時評議員会まで

III 評議員会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり評議員会を開催しました。

1 令和6年度定時評議員会

- (1) 日 時 令和6年6月18日(火) 午前10時30分
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員8人、監事1人
- (4) 議決事項
 - ① (報告) 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算(監事監査報告を含む)

2 令和6年度第2回評議員会

- (1) 日 時 令和7年3月26日(水) 午後1時30分
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 評議員8人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事の選任につき評議員会の議決を求めることについて

IV 理事会

事業団の管理運営上、重要な事項を審議するため、次のとおり理事会を開催しました。

1 令和6年度第1回理事会

- (1) 決議日 令和6年4月1日(月)
- (2) 決議方法 書面による決議
- (3) 決議者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 社会福祉法人草加市社会福祉事業団副理事長の選定について

2 令和6年度第2回理事会

- (1) 日 時 令和6年5月27日（月）午前9時
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事8人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業報告
 - ② 令和5年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業決算
 - ③ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団定時評議員会の招集について

3 令和6年度第3回理事会

- (1) 日 時 令和6年11月29日（金）午前10時
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 令和6年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業及び収益事業資金収支補正予算（第1号）
 - ② 社会福祉法人草加市社会福祉事業団就業規則の一部を改正する規則の制定について

4 令和6年度第4回理事会

- (1) 日 時 令和7年3月26日（水）午前10時
- (2) 場 所 草加市総合福祉センターであいの森
- (3) 出席者 理事9人、監事2人
- (4) 議決事項
 - ① 令和6年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業資金収支補正予算（第2号）
 - ② 令和7年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団事業計画
 - ③ 令和7年度社会福祉法人草加市社会福祉事業団社会福祉事業、公益事業及び収益事業資金収支予算
 - ④ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団事務決裁規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑤ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団就業規則の一部を改正する規則の制定について
 - ⑥ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員及び役員の報酬等に関する規程の一部を改正する規程の制定について
 - ⑦ 社会福祉法人草加市社会福祉事業団職員給与規程の一部を改正する規程の制定について

- ⑧社会福祉法人草加市社会福祉事業団管理職手当支給規程の一部を改正する規程の制定について
- ⑨社会福祉法人草加市社会福祉事業団役員等のために締結される保険契約内容の承認について
- ⑩社会福祉法人草加市社会福祉事業団第2回評議員会の招集について
- ⑪社会福祉法人草加市社会福祉事業団理事選任候補者の推薦につき理事会の同意を求めることについて
- ⑫社会福祉法人草加市社会福祉事業団評議員選任・解任委員の選任につき理事会の同意を求めることについて

草加市立養護老人ホーム松楽苑

I 養護老人ホーム事業

1 生活援助

入所者一人ひとりに合わせた自立支援計画を立案し、その計画に基づき、安心・安全に配慮した日常生活を営むこと、また入所者本人の自立を促す支援を行いました。必要な入所者には、介護保険サービス等の外部サービスを利用しました。

季節ごとの行事を通じて、四季を感じることで生活の質を高めるとともに、月1回の歌の教室や習字など外部から講師を招き、心身ともに健やかに過ごすことができるように支援しました。

また、レクリエーションや食事会・買物外出などを通じて、入所者間のコミュニケーションを図れるように支援しました。

2 相談・助言

入所者の生活における相談や助言、金銭管理、各種申請代行等を行い、安心して生活が送れるよう支援を行いました。

3 健康管理

1日に2回、体操・ストレッチを実施するほか、外部から講師を招き、3B体操やストレッチ体操を実施することにより、体力・健康の維持を図りました。また、口腔ケアや口腔体操を促すことで健康の増進につなげました。

嘱託医による毎月の定期診療や年2回の健康診断、各種予防接種を実施しました。看護職員による健康相談・血圧測定・体重測定・健康チェック並びに他職種との連携から、入所者の体調の変化、さらに精神的な変化に対する早期対応を行うとともに、専門的な関係機関につなげ、疾病の早期発見、早期治療に努めました。

4 衛生管理

食堂や施設内共有部分の消毒を1日2回以上実施し、定期的な換気、加湿（冬季）を行い、感染症等の防止に努めました。また、入所者及び職員に対し手洗いやうがい、手指消毒など基本的な感染対策を励行し、食中毒の予防に努めました。

5 食事

食事での楽しみを最大限に感じていただけるように、栄養士による栄養管理の下、季節の食材を取り入れた食事の提供を心がけました。

さらに、食事形態や食事制限のある入所者でも楽しめるように、必要に応じて個別に対応しました。また、入所者の意見や嗜好の聞き取りを参考に、希望に沿った献立を提供し、食事内容の充実を図りました。

6 一時入所

草加市からの依頼により、基本的な生活習慣が身につけていない方や対人関係が成立していない方など、社会適応が困難な高齢者の一時的な宿泊を受け入れ、生活習慣の指導・支援・栄養管理を行うとともに、健康状態を把握しました。

7 家族・身元引受人及び地域との交流

入所者の日々の様子や体調など、ご家族や身元引受人への連絡・報告を適宜実施し、可能なご家族には面会や外出・外泊をしていただくなど、家族との交流の機会を確保するほか、年2回発行する「苑だより」において入所者の生活の様子をお知らせしました。

地域の方々にも事業内容を広く理解してもらえるよう、行事の内容や日々の生活の様子、近況報告等をSNSなどを通じてお知らせしました。

また、地域の行事に参加することで、地域貢献が図れるように努めました。

8 非常災害対策計画及び事業継続計画

災害発生時に備え、避難訓練や各種研修を通して職員教育を行い、実際に災害が発生した場合に必要な対応が迅速かつ円滑に行えるようにしました。

大規模な地震や水害、感染症などにより、事業の運営が危機的状況下に置かれた場合でも、事業の運営が困難にならないように、実現可能な事業継続計画の見直しを適宜行い、各職員への周知徹底を図りました。

II 訪問介護事業

1 身体介護

自立支援を念頭に置き、より安全で安心した生活が継続できるように、食事、排泄、入浴、口腔ケアなどの日常生活動作全般における介護及び声かけ、見守りを行いました。また、自立した生活が継続できるように、利用者の心の充実と安定を図りました。

2 生活援助

居室の清掃、衣類及びリネンの洗濯や日用品の整理等、必要に応じた日常生活の援助を行い、衛生面にも配慮したサービスの提供を行いました。

3 その他

生活における相談・助言を行い、サービスの変更等について、介護支援専門員や他事業所と連携を取り、利用者がより良い生活が送れるように支援しました。

(松 楽 苑)

(1) 入・退所者の状況

(単位：人)

定員	月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
50	入所者	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	1	6
	退所者	0	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	0	4
	在所者	23	23	23	24	23	23	22	23	23	22	23	24	

※前年度末在所者 22 人

※令和 6 年度年間利用者延べ人数 8, 395 人

(2) 措置機関別在所者状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

措置機関名	人数	措置機関名	人数
草加市福祉事務所	22	足立区福祉事務所	1
川口市福祉事務所	1	合 計	24

(3) 年齢分布表 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

性別	年齢	61歳 ～ 65歳	66歳 ～ 70歳	71歳 ～ 75歳	76歳 ～ 80歳	81歳 ～ 85歳	86歳 ～ 90歳	91歳 ～ 95歳	96歳 ～ 100歳	合計	平均 年齢
男 性		0	0	1	3	3	2	0	0	9	79.9歳
女 性		0	0	1	3	6	4	1	0	15	83.4歳
合 計		0	0	2	6	9	6	1	0	24	82歳

最少年齢 = 71 歳

最高年齢 = 91 歳

(4) サービスの提供状況（特定施設入居者生活介護）

（単位：人）

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	1	1	2	3	1	8
5 月	0	4	2	4	0	10
6 月	0	4	2	4	0	10
7 月	0	4	1	5	1	11
8 月	0	3	1	5	1	10
9 月	0	4	1	4	0	9
10 月	0	4	1	4	0	9
11 月	0	2	1	4	1	8
12 月	0	2	1	4	0	7
1 月	0	2	1	4	0	7
2 月	0	2	1	4	0	7
3 月	0	2	1	4	0	7
合計	1	34	15	49	4	103

(5) 一時入所

（単位：人・日）

月別 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計 (延べ)
利用者数	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	7
利用日数	30	31	30	0	0	0	0	0	18	31	27	2	169

(6) 活動

内 容	実 施 日	指 導 者	回数	構成員
3 B 体操	毎週月曜日	増村様・篠田様	35	全 員
ストレッチ体操	月 1 回	岩田様	12	全 員
歌の教室	月 1 回	河内様	12	全 員
レクリエーション	毎週水曜日	担当職員	32	全 員
ビデオ鑑賞	毎週木曜日	担当職員	46	全 員

(7) 各種行事

実 施 日	行 事 名
5月27日	開苑記念行事
8月2日	夏祭り
8月5日、15日	盆供養（迎え火・送り火）
9月15日	敬老会
10月30日・11月6日、28日	お楽しみ外出
12月25日	クリスマス会
1月16日	新年会
1月23日	初詣
2月3日	節分
3月26日	お花見昼食会
5月（2回）・6月（1回） 10月（3回）・2月（4回）	食事会
10月（1回）・2月（1回）	
6月（3回）・9月（3回）・3月（6回）	茶話会
毎月実施	買物外出
	誕生者イベント

(8) ボランティア受入状況

活動内容	活動日数	延べ人数
習 字	10日	10人
ハーモニカ慰問	7日	35人
カーレット慰問	1日	8人
ラーメン慰問	1日	5人

(訪問介護事業所)

サービスの実施状況

(令和6年度年間利用者延べ回数 5,968回)

(単位:人・回)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月利用実人数	1	1	2	3	1	8
4月訪問回数(合計)	44	55	112	182	14	407
5月利用実人数	0	4	2	4	0	10
5月訪問回数(合計)	0	236	89	243	0	568
6月利用実人数	0	4	2	4	0	10
6月訪問回数(合計)	0	223	80	160	0	463
7月利用実人数	0	4	1	5	1	11
7月訪問回数(合計)	0	237	61	192	38	528
8月利用実人数	0	3	1	5	1	10
8月訪問回数(合計)	0	188	69	261	10	528
9月利用実人数	0	4	1	4	0	9
9月訪問回数(合計)	0	208	66	255	0	529
10月利用実人数	0	4	1	4	0	9
10月訪問回数(合計)	0	231	68	270	0	569
11月利用実人数	0	2	1	4	1	8
11月訪問回数(合計)	0	189	65	170	2	426
12月利用実人数	0	2	1	4	0	7
12月訪問回数(合計)	0	194	70	242	0	506
1月利用実人数	0	2	1	4	0	7
1月訪問回数(合計)	0	200	70	256	0	526
2月利用実人数	0	2	1	4	0	7
2月訪問回数(合計)	0	177	63	238	0	478
3月利用実人数	0	2	1	4	0	7
3月訪問回数(合計)	0	163	67	210	0	440
年間利用実人数	1	34	15	49	4	103
年間訪問回数(合計)	44	2,301	880	2,679	64	5,968

草加市障害福祉サービス事業所 つばさの森

I 生活介護事業

1 日中活動

DVDを使用した健康体操、ボッチャ、卓球、つばさの森のグラウンドでのウォーキングやグラウンド・ゴルフ、季節ごとの創作、文字の読み書き、簡単な計算、ゲーム等様々な活動を行いました。曜日ごとにプログラムを決める事で、見通しをもって過ごせるよう努めました。

また、外出支援として、越谷レイクタウンでの食事や買い物、であいの森ミニコンサート観覧、そうか公園でのウォーキングを実施し、自信や達成感を得られるよう取り組みました。

2 生産活動

利用者一人ひとりの能力や特性、心身の状況に応じて作業内容や環境を工夫し、働く習慣と態度を身に付けられるよう支援しました。また、毎月工賃を支給することにより、働く喜びを得られるよう支援しました。

3 健康管理

看護師による、毎日のバイタル測定等の健康観察と、月に1回の嘱託医による診察を行う事により利用者の健康状態を把握し、日中活動を安全に行えるよう努め、体調に変化があればご家族等に情報共有をしました。

また、日々の口腔体操、全身運動、スポーツ、個別の運動を行うことで心身機能の維持・向上を図り、介護予防に努めました。

4 送迎サービス

リフト付きバス等で、草加市内のご自宅まで安全な送迎サービスを行いました。

II 就労継続支援B型事業

1 生産活動

製菓部門にて新商品の開発、また、受注先を新規開拓したことにより、安定した作業収入の確保と作業提供をすることができました。

また、利用者が様々な作業の習得や働く習慣と態度を身に付けることができるよう利用者一人ひとりの能力や障害特性に応じた作業内容・作業環境を工夫し、支援を行いました。

2 施設外作業

施設外での作業を行い、安定した作業収入の確保を図りました。また、施設とは違った環境と体制の中で作業を行うことで、作業意欲の向上につながるよう支援しました。

3 就労への移行

利用者本人、その保護者が就労を希望し、かつ、就労可能と見込まれる方に対し、訓練プログラムの実施、求職活動支援、職場実習支援等を行いました。

また、就労者に対し、就労後も安定した就労が持続するよう職場定着支援を行いました。

4 生活支援

利用者の日常生活に対する支援や自立に向けた支援を行いました。

5 健康管理

毎日、朝の会の後にラジオ体操・ウォーキングを実施するほか、月に2回ずつ3B体操と空手体操を実施し、利用者の健康増進や身体機能の維持を図りました。

また、年に1回、希望者に対し健康診断を実施し、利用者の健康状態を把握するとともに、その結果をご家族等へ報告し、情報の共有を図りました。

6 送迎サービス

利用者やご家族等の高齢化に伴い、自主通所が困難になった利用者に対し、安全に通所ができるようリフト付きバス等でスポット送迎を行いました。

III 相談援助

利用者やご家族等の状況の変化に合わせて個別の相談を受け、必要に応じて障がい福祉課や相談支援事業所等関係機関と連携を図りながら、利用者の支援内容の見直しや環境の調整を行いました。

また、個別面談や月1回の保護者会開催の際に、利用者自身やご家族等の意見・意向を聞き取り、サービスの向上につなげました。

IV 食事の提供

管理栄養士による栄養管理の下、利用者の疾患や身体状況に応じ、粥食、キザミ食、アレルギーや好き嫌いに至るまで、きめ細やかに個別対応を行いました。

旬の食材を取り入れた献立の提供や季節に合わせた行事食、バイキング給食、誕生日給食やセレクトメニューを提供し、利用者が毎日の食事を楽しめる工夫をしました。

また、今年度から利用者ごとの食事摂取量の把握、体重測定を実施し、栄養状況の把握に努めました。

V 地域交流

地域との交流を促進するため、保護者会やボランティアの協力を得て、施設行事に地域の方々や近隣の学校、福祉施設が参加できる機会を作るとともに、地域のまつり等へ積極的に参加するなど、地域に根ざした活動を行いました。

また、産学官福連携による、コラボスイーツを開発・販売する中で、様々な地域住民や多世代がつながり合える社会の醸成の一躍を担うとともに、このスイーツを通じて地域とのつながりをより強くしていくことを目指しました。

(生活介護事業・就労継続支援B型事業)

(1) 介護給付費・訓練等給付費支給市町別の利用者状況(令和7年3月31日現在)

(単位：人)

支給市町村名	生活介護事業	就労継続支援B型事業
草 加 市	1 3	3 7
越 谷 市	1	1 1
松 伏 町	0	1
吉 川 市	0	1
合 計	1 4	5 0

(2) 入退所の状況

①生活介護事業

(単位：人)

定員	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
16	入所者	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	退所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	在所者	13	13	13	13	13	14	14	14	14	14	14	14	

令和6年度年間利用者延べ人数 2,960人

令和6年度年間利用者実人数 14人

②就労継続支援B型事業

(単位：人)

定員	月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
	区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
64	入所者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	退所者	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	4
	在所者	52	53	52	52	52	51	51	50	50	50	50	50	

令和6年度年間利用者延べ人数 11,175人

令和6年度年間利用者実人数 50人

(3) 年齢別分布表(令和7年3月31日現在)

①生活介護事業

(単位：人)

性別	年齢	18	20	30	40	50	60	合計	平均年齢
	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
	19	29	39	49	59				
男 性	歳	歳	歳	歳	歳				
女 性	歳	歳	歳	歳	歳				
合 計	歳	歳	歳	歳	歳				

※ 最少年齢 33歳 最高年齢 72歳

②就労継続支援B型事業

(単位：人)

年齢 性別	18 歳 19 歳	20 歳 29 歳	30 歳 39 歳	40 歳 49 歳	50 歳 59 歳	60 歳	合計	平均 年齢
男 性	1	8	10	3	11	2	35	40.6歳
女 性	0	1	5	3	4	2	15	45.1歳
合 計	1	9	15	6	15	4	50	41.9歳

※ 最少年齢 19 歳 最高年齢 73 歳

(4) 職場実習等

事 業 者 名	人数	作 業 内 容
埼玉県教育局 チームぴかぴか	1	事務補助等

(5) 就職先

事 業 者 名	人数	作 業 内 容
埼玉県庁（会計年度任用職員）	1	事務補助等

(6) 加工事業

業 者 名	作 業 品 目
(資)釜屋商店	お灸の筒の組み立て、お灸のサンプル組み立て等
(株)日本化学産業	建築用部品の加工
(株)イワコー	消しゴムの組立
(合)Lead Block	銀のさら 宅配用お箸セット作成
草加市上下水道部	使用済水道メーターの分解
森紙器(株)	箱折り
更新(株)	防塵マスク用ゴム紐の部品取り付け等
(株)アークス	チラシ封入、チラシ折り
(有)公平紙巧	仕切り組み立て
(有)ムラマツ工芸	不織袋の貼り込み、取り込み
トレジャー(株)	箱折り
長井紙業(株)	割り箸の袋入れ

(7) 受託事業

業 者 名	作 業 品 目
SBS三愛ロジスティクス(株)	段ボール組み立て、段ボール潰し
草加市都市整備部みどり公園課	公園の清掃

(8) 販売事業

作 業 名	生 産 品 目
印 刷	名刺、年賀状、チラシ、封筒等
農 作 業	ラベンダー、柿、夏みかん
製 菓	各種マドレーヌ、小松菜マフィン、彩のマカローヌ、パウンドケーキ等
自 動 販 売 機	自動販売機の管理

(9) 年間作業収入

(単位：円)

加工事業収入	受託事業収入	販売事業収入	収入合計
4,429,110	4,885,717	12,636,559	21,951,386

(10) 工賃支給額

(単位：円)

支給日	開所 日数	生活介護事業		就労継続支援B型事業		
		平均 利用者数	支給額	平均 利用者数	支給額	平均工賃
4/25	21日	10.8人	118,100	49.0人	1,642,200	33,514
5/24	21日	11.7人	39,000	48.6人	628,900	12,940
6/25	20日	11.9人	37,500	48.4人	890,860	18,406
7/25	22日	11.4人	71,000	47.6人	1,001,700	21,044
8/23	21日	11.8人	70,700	43.6人	1,026,400	23,541
9/25	19日	12.7人	31,900	46.9人	444,200	9,471
10/25	22日	13.5人	68,400	47.5人	854,800	17,995
11/25	20日	12.1人	55,400	40.2人	660,500	16,430
12/25	20日	11.6人	49,500	40.2人	922,063	22,936
1/24	19日	13.4人	81,100	46.5人	965,700	20,767
2/25	18日	13.4人	51,500	46.7人	627,000	13,426
3/25	20日	12.7人	163,100	46.8人	1,952,000	41,709
年 間	243日	147人	837,200	552人	11,616,323	21,044

(11) 年間行事

実 施 日	行 事 名
4 月 ～ 3 月	越谷レイクタウン買い物外出（B型事業）
4 月 2 4 日	越谷レイクタウン買い物外出（生活介護事業）
6 月 6 ・ 7 日	つばさの森保護者会研修旅行
6 月 2 0 日	防災訓練
6 月 2 8 日	バイキング給食
9 月 2 0 日	つばさの森感謝祭～すまいるフォーユー～
1 0 月 2 5 日	健康診断
1 2 月 2 0 日	お楽しみ会
1 月 2 7 日	防災訓練
1 月 3 1 日	であいの森ミニコンサート観覧（生活介護事業）
3 月 1 日	つばさの森保護者会日帰りバス旅行
3 月 7 日	お楽しみ会
3 月 1 2 日	であいの森ヴァイオリンコンサート観覧（生活介護事業）

(12) クラブ活動

クラブ名	内 容
鑑賞	利用者の好みに合わせたDVD鑑賞を行いました。
ダンス	音楽に合わせて皆でダンスをしました。9月のつばさの森感謝祭～すまいるフォーユー～でステージ発表を行い、ダンス練習の成果を発表しました。
芸術	お絵描き、塗り絵、ゲーム（オセロ・将棋・ブロック・ジェンガ・カードゲーム等）、音楽鑑賞など、各自の興味がある事を行いました。季節に合わせた飾りや貼り絵を、玄関前の壁に展示しました。
カラオケ・合唱	各自が歌を選び、カラオケを楽しみました。また、行事の中で歌の合唱も行いました。

(13) 特別支援学校など実習生受入状況 (単位：人)

学 校 名	人 数
草加かがやき特別支援学校	1
成人看護学実習	8
保育実習	1
高等学校初任者研修民間企業等体験研修	1
介護等体験	4

草加市総合福祉センター であいの森

I 高年者福祉センター事業

1 利用者ニーズに沿った事業の展開

高年者の健康増進及び教養の向上を目的として各種講座を開催しました。

「すまいる広場～介護予防～」 「であいの森かけはしサロン」では、利用者ニーズに沿って内容の拡充を図り実施しました。

また、「ボッチャを体験してみよう」を定期的で開催するほか、3月に身体障害者福祉センターの「ボッチャ教室」の利用者との交流会を開催しました。講座では、「フラワーアレンジメント講座」「マージャン教室」を新たに実施し、認知症予防や介護予防につながる様々な機会を提供するとともに、こうした活動の様子を事業団公式のFacebookやYouTube等に掲載することで広報活動に努めました。

さらに、主催講座やサークルの活動を発表する場として「であいの森まつり」を開催し、各活動の舞台発表や作品展示などの機会を提供しました。

また、利用者ニーズの高いフリーWi-Fiを新たに導入することで、施設の利便性及びサービスの向上に努めました。

2 生活・健康等の各種相談の実施

心身の健康維持や疾病予防のため、看護師等の専門職員が適切な相談、援助を行い、その情報を職員会議等で共有することで高年者の生活を支援しました。

3 すこやかクラブ及びサークル等の団体活動の支援

すこやかクラブについては、草加市や社会福祉協議会等と連携を図る中で、円滑に楽しく活動が行えるよう支援しました。

また、サークルについては、定例の会議を実施するほか、サークルの代表者等との連絡を密にし、円滑かつ自主的な活動が行えるよう支援しました。

4 施設利用の促進

広報そうかへの掲載や福祉センターだよりを発行するなど特色のある催し物等の開催や施設の周知に努めるとともに、より多くの方々が施設を利用できるよう、その利便性を図るため、市内主要駅周辺を基本のルートとしたマイクロバスによる送迎サービスを実施しました。

5 入浴サービス

定期点検を行うことで早急な修繕対応を実施するなど高年者等に対し、安全面と衛生面に配慮した入浴サービスを提供するとともに、より多くの方にご利用いただけるよう予約制の介助風呂を実施しました。

6 貸館事業の促進

草加市全域に事業団広報誌を配布するなど、魅力ある施設・設備・事業を広く宣伝し、貸館事業の利用促進に努めました。

Ⅱ 身体障害者福祉センター事業

1 更生相談

障がい者及びその家族等に対し、関係機関との連携の下、生活や就業等に関わる各種の相談に応じました。

2 機能訓練

医師の指示に基づき、専門職等が身体機能の維持・回復を目的に訓練を実施し、安全な日常生活動作の習得と社会参加の促進を図りました。

3 各種教養講座等

ボッチャ講座では、身体に障がいのある方及びその家族等を対象とし、軽度から重度の障がいのある方まで、全ての方が参加し楽しむことができる障がい者スポーツとして定期的に実施するほか、3月には高年者福祉センターの「ボッチャ講座」の利用者と交流会を開催しました。

また、草加市内の大会や交流会などにも積極的に参加し、同スポーツの普及と発展のため活動しました。

利用者の安全に配慮しながら料理教室を開催し、利用者サービスの向上に努めました。

4 送迎サービス

機能訓練利用者に対し、リフト付きバスにて自宅まで送迎を行いました。

また、土曜日、日曜日にボッチャ等の講座参加等で、施設を利用する身体に障がいのある方に対して、最寄りの駅までの送迎を予約制にて実施しました。

5 感染症対策

手洗い・手指消毒、マスクの着用や送迎バス乗車前の検温・手指消毒、私物等（杖・車椅子）の消毒等の感染症対策を実施しながらサービスの提供に努めました。

Ⅲ 地域活動支援センター事業

1 基本サービス

(1) 創作的活動

創作的活動を通して、個々の創造力や感性を高めるとともに、利用者間で協働して取り組む中で、互いの障がいを理解しながら、集団生活における社会性や協調性を養えるよう支援しました。

また、園芸・創作等の活動を通して、自然や季節を感じることで、心の豊かさを得られるよう努めました。

(2) 機能訓練

個々の生活実践プログラムの実施により、身体機能・生活能力の維持・向上を図るとともに、日常生活の充実につながるよう努めました。

(3) 介護方法の指導

利用者及び家族の介護に関する相談等を受ける中で、介護方法の指導助言を行いました。

(4) 社会適応訓練

個別支援計画書に基づき、日常生活、社会生活における個々の課題を確認し、家族や関係機関等と協力しながら、個別訓練を実施しました。

(5) 更生相談

利用者及び家族等からの生活や就業等に関する様々な相談に応じるとともに、必要に応じ、関係機関との連絡・調整を図りました。

(6) スポーツ・レクリエーション

高年者等のボランティアの協力を得て、安全かつ楽しくスポーツ・レクリエーションができる機会を提供することにより、体力の維持・向上を図りました。

(7) 健康指導

バイタルチェックを行うことにより、利用者の心身の健康状態を把握し、日中活動が安全に行えるよう努めるとともに、随時、健康相談を実施しました。

(8) 医療的サービス

利用者の心身の状況に応じ、看護職員による医療的な処置を行いました。

2 食事サービス

栄養士による栄養管理の下、利用者の体調や身体状況等に応じた給食やおやつを提供しました。

また、旬を感じさせる食材や行事食等を提供することにより、食を通して季節感を味わえるよう努めました。

誕生日に該当する利用者の方々から事前に食べたい食事のリクエストを聞き、月2回ほどリクエスト給食の提供を行いました。

3 送迎サービス

自主通所の難しい市内在住の利用者に対し、リフト付きバスによる送迎サービスを行いました。

4 入浴サービス

自宅での入浴が困難な方を対象に、身体の衛生保持と安全な入浴方法の習得を目的とした入浴サービスを行いました。

5 特別プログラム

心身のリフレッシュや利用者間の交流を図ることを目的として、バスハイクや近隣の商業施設へのグループ外出を実施しました。

6 新規利用者の獲得

パンフレットを分かりやすく親しみのある内容に更新するとともに、近隣の学校や施設に積極的に配布し、新規利用者の獲得に努めました。

IV 軽食喫茶事業

1 軽食喫茶

栄養バランスの取れた手作りの食事を低価格で提供することで、利用者ニーズに対応し、健康の増進及び満足度の向上に努めました。

2 販路拡大

月ごとの献立表を作成し、利用者に配布するなど事業の周知に努めるとともに、す

こやかクラブ等への弁当の受注販売やあいの森まつりでの模擬店販売（予約制）を実施しました。

3 衛生管理

職員の細菌検査等の実施や手洗い等の励行により、衛生管理の徹底を図りました。

(高年者福祉センター事業)

(1) 令和6年度年間利用者延べ人数 87,522人

(2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9)の合計値

(2) 健康相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
件数	116	119	117	132	52	89		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	80	91	75	101	77	93	1,142	1,296

(3) 教養講座の開催

(単位：回・人)

開催期間	講座名	受講者数	回数	出席延人数
		高年者		高年者
4月5日～3月26日	すまいる広場	20	48	671
4月24日～3月22日	ボッチャを体験してみよう	18	6	114
5月7日～7月16日	体幹を鍛えようヨガ教室	12	6	63
5月13日～7月22日	フラダンス教室	12	6	59
5月16日～7月18日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	113
5月22日	癒しの苔玉作り	9	1	10
5月8日～2月20日	かけはしサロン	20	6	97
8月6日～10月15日	Let's!!リズム体操	20	6	91
8月9日～10月25日	季節を感じよう俳句講座	11	6	59
8月27日～10月29日	絵手紙教室	16	6	67
8月29日～11月14日	水彩画を楽しく描こう	9	6	52
10月3日～12月19日	スローストレッチで筋力アップ	20	6	91
10月9日～12月11日	ハンドベルを奏でよう	15	8	112
11月15日	手芸講座～軍手で作ろう～卯～	15	2	30
11月20日	自然のもので作るリース作り	9	1	8
1月10日～3月14日	Let's!!リズム体操	20	6	104
1月15日～3月19日	みんなで踊ろうエアロビダンス	12	6	80
1月22日	フラワーアレンジメント講座	16	1	16
3月17日	マーじゃん教室	16	1	17
		合計	134	1,854

(4) すこやかクラブの利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
団体数	20	14	21	14	17	14		
利用者数	212	205	234	182	160	200		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
団体数	18	16	21	12	20	15	202	213
利用者数	206	300	212	154	206	196	2,467	2,677

(5) 高年者の送迎サービスの状況 (一般) (単位：人) (※計に含まない)

区分\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
午前便	1,085	1,133	1,046	1,032	1,009	1,008		
午後便	518	502	485	418	406	440		
計	1,603	1,635	1,531	1,450	1,415	1,448		
区分\月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
午前便	1,150	1,180	1,094	998	759	1,115	12,609	12,260
午後便	482	492	488	418	443	538	5,630	5,530
計	1,632	1,672	1,582	1,416	1,202	1,653	18,239	17,790

(6) 浴室利用状況 (単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男性	1,897	1,970	1,769	1,686	1,666	1,723		
女性	1,393	1,406	1,245	1,317	1,245	1,235		
計	3,290	3,376	3,014	3,003	2,911	2,958		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男性	1,867	1,761	1,694	1,706	846	2,055	20,640	20,079
女性	1,382	1,344	1,297	1,166	592	1,407	15,029	15,181
計	3,249	3,105	2,991	2,872	1,438	3,462	35,669	35,260

※ 八潮市内道路陥没に伴う下水道の使用制限による入浴サービス休止 1月30日～2月15日

(7) サークルの活動状況（令和7年3月31日現在）※活動実績のあるサークルのみ表示

サークル名	会数	活動回数	サークル名	会数	活動回数
青柳クラブ	6	43	草加ハーモニカ同好会	7	26
アカリダンスサークル	6	43	太極拳サークル	14	36
絵手紙工房	7	12	ダンス レモン	12	46
かがやき	11	24	稚心会	14	24
カサブランカ	13	32	恙なしの会	15	47
華道 千草会	4	28	にこにこ体操クラブ	44	49
ギターサークル であい	7	35	ねんどの会	9	53
杵柄会 あじさいクラブ	10	32	フレンドリーダンスサークル	18	44
杵柄会 三味線クラブ	6	23	まあがれっと	2	50
杵柄会 日本舞踊クラブ	9	40	マイ スマイル	3	10
杵柄会 民謡クラブ	10	22	みつぼしクラブ	13	46
杵柄会 カラオケクラブ	7	25	メープル英会話クラブ	10	46
琴 こでまり	4	11	釉友くらぶ	11	49
埼玉県スポーツウエル ネス吹矢協会	6	41	友和会	7	22
桜草サークル	6	18	ヨーガめぐみ	6	23
視覚障がい者 虹の会	5	22	よさこい彩女	8	40
シルバーコーラス	16	21	楽々会	4	11
ストレッチ体操 空	31	39	わかばの会	8	25
草加ハナレイ・フラサークル	5	25	パレット	5	1

(8) 研修室等の利用状況

() …団体数 (単位:人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
研修室1・2	(27) 283	(20) 214	(26) 318	(25) 270	(12) 127	(20) 239	
研修室3・4	(23) 304	(24) 372	(28) 330	(26) 380	(18) 166	(26) 285	
茶・華道室	(14) 107	(13) 89	(16) 233	(19) 93	(24) 145	(17) 128	
教養文化室	(57) 738	(53) 1,048	(58) 1,047	(62) 767	(70) 591	(72) 767	
工 房 (陶芸・和紙)	(11) 163	(10) 185	(9) 142	(9) 166	(8) 136	(8) 147	
その他 (剣道・柔道)	(12) 142	(12) 225	(14) 199	(14) 203	(10) 126	(16) 182	
開放施設	(0) 2,026	(0) 2,221	(0) 1,943	(0) 2,324	(0) 2,012	(0) 2,153	
合 計	(144) 3,763	(132) 4,354	(151) 4,212	(155) 4,203	(142) 3,303	(159) 3,901	
月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総 数
研修室1・2	(27) 291	(27) 294	(15) 229	(24) 314	(22) 299	(28) 294	(273) 3,172
研修室3・4	(24) 318	(28) 388	(20) 227	(25) 296	(22) 283	(28) 302	(292) 3,651
茶・華道室	(19) 146	(16) 151	(13) 101	(12) 77	(10) 79	(12) 100	(185) 1,449
教養文化室	(64) 689	(59) 632	(53) 534	(62) 636	(69) 813	(75) 858	(754) 9,120
工 房 (陶芸・和紙)	(10) 171	(8) 157	(8) 138	(8) 147	(7) 130	(8) 144	(104) 1,826
その他 (剣道・柔道)	(17) 221	(13) 205	(15) 214	(9) 259	(11) 130	(13) 213	(156) 2,319
開放施設	(0) 2,091	(0) 2,089	(0) 1,557	(0) 1,957	(0) 2,112	(0) 2,305	(0) 24,790
合 計	(161) 3,927	(151) 3,916	(124) 3,000	(140) 3,686	(141) 3,846	(164) 4,216	(1,764) 46,327

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	9	0	0	0	1	2	48	2	1	0	0	0	63

(身体障害者福祉センター事業)

- (1) 令和6年度年間利用者延べ人数 616人
(2) + (5) + (6) の合計値

(2) 機能回復訓練利用状況 (延べ人数)

月 区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
日 数		9	9	8	9	8	8	
利用者数	男 性	16	20	13	26	16	14	
	女 性	5	8	4	4	8	8	
	合 計	21	28	17	30	24	22	
1日平均利用者数		2.3	3.1	2.1	3.3	3.0	2.8	
健康確認及び指導		21	28	17	30	24	22	
評 価		1	1	1	0	1	4	
診 察		2	1	3	2	1	5	
介護方法の指導		2	1	3	2	1	5	
更 生 相 談		2	1	6	2	1	5	
送 迎	往 路	20	28	17	25	20	18	
	復 路	21	28	17	26	20	18	
月 区分		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 数		10	8	8	9	8	8	102
利用者数	男 性	26	20	27	25	28	26	257
	女 性	10	7	7	8	8	7	84
	合 計	36	27	34	33	36	33	341
1日平均利用者数		3.6	3.4	4.3	3.7	4.5	4.1	3.3
健康確認及び指導		36	27	34	33	36	33	341
評 価		2	2	3	1	3	0	19
診 察		3	2	4	2	2	3	30
介護方法の指導		3	2	4	2	2	3	30
更 生 相 談		3	2	4	2	2	3	33
送 迎	往 路	31	23	25	25	25	26	283
	復 路	30	23	24	25	25	25	282

(3) 機能回復訓練登録者年齢別状況

年 齢 区 分	18歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～	総計	平均年齢
男性	0	0	1	5	3	2	11	58歳
女性	0	0	1	1	0	2	4	67歳
合 計	0	0	2	6	3	4	15	60歳

(4) 嘱託医(整形外科)評価・診察状況

(単位：人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
人 数	男 性	3	1	3	1	0	8		
	女 性	0	1	1	1	2	1		
	合 計	3	2	4	2	2	9		
月		1 0月	1 1月	1 2月	1月	2月	3月	合 計	
人 数	男 性	4	2	6	1	4	3	36	
	女 性	1	2	1	2	1	0	13	
	合 計	5	4	7	3	5	3	49	

(5) 送迎サービス(シャトルバス)の状況

(単位：人) (※計に含む)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
往 路	3	7	5	5	0	3	
復 路	3	4	5	4	0	2	
計	6	11	10	9	0	5	
月	1 0月	1 1月	1 2月	1月	2月	3月	合 計
往 路	11	4	6	3	11	4	62
復 路	11	3	7	5	10	4	58
計	22	7	13	8	21	8	120

(6) 各種教養・心身向上講座

(単位：人)

開催期間	講 座 名	受講者数	回数	出席延べ人数
4月～3月	「ボッチャ教室」 ※毎月1回開催	16	11	140
10月	「ホットケーキミックスで簡単！総菜パン作り」	7	1	7
2月	節分の太巻きを作ろう	8	1	8
		合計	13	155

(地域活動支援センター事業)

(1) 営業日数及び利用者数の月別状況 令和6年度年間利用者延べ人数 5,851 人
(越谷含む)

			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
営業日数			22	23	20	23	22	21	23	21
月間利用者数		実人数	358	364	301	338	356	348	364	344
		延べ人数	493	500	420	483	493	479	518	485
一日平均利用者数			16.3	15.8	15.1	14.7	16.2	16.6	15.8	16.4
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	340	349	286	319	344	334	349	333
		復路	341	346	288	321	342	331	349	335
		計	681	695	574	640	686	665	698	668
	入浴サービス		42	51	39	43	48	46	47	40
	給食サービス		344	344	279	331	353	337	355	336
			12 月	1 月	2 月	3 月	合計		月平均	前年度
営業日数			20	20	20	21	256		21	257
月間利用者数		実人数	335	336	331	358	4,133		487.6	4,242
		延べ人数	504	522	456	498	5,851			6,335
一日平均利用者数			16.8	16.8	16.6	17.0			16.2	16.5
サービス別利用者数	送迎サービス	往路	325	329	329	355	3,992		333	4,037
		復路	325	328	326	356	3,988		333	4,031
		計	650	657	655	711	7,980		665	8,068
	入浴サービス		45	47	44	59	551		45.9	571
	給食サービス		335	335	326	357	4,032		336	4,093

(2) 契約者状況 (全 43 名)

(令和 7 年 3 月 31 日現在)

区分 年齢	区分なし			区分 1			区分 2			区分 3		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
29 歳～38 歳	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
39 歳～48 歳	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49 歳～58 歳	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
59 歳～65 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0	1
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5	5	2	0	0	0	0	1	3	5	2	3
前年度合計	6	5	1	0	0	0	0	1	3	4	1	3

区分 年齢	区分 4			区分 5			区分 6		
	身体	知的	精神	身体	知的	精神	身体	知的	精神
18 歳～28 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
29 歳～38 歳	0	2	0	1	0	0	0	0	0
39 歳～48 歳	0	2	0	3	1	0	2	0	0
49 歳～58 歳	0	0	1	0	1	0	0	2	0
59 歳～65 歳	0	0	0	1	1	0	0	0	0
65 歳～	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	4	1	5	3	0	2	2	0
前年度合計	1	5	2	6	4	0	2	1	0

(3) 新規利用者・利用終了者

利用相談者		男	女	終了者		男	女
	新規相談者	6	9		辞退 (入所・他施設移行等)	0	0
	内：未契約数	5	7		死亡	2	0
	内：契約数 (新規利用)	1	2		65 歳到達	0	1
	合計	6	9		合計	2	1

(4) 年間実施行事

実 施 期 間	活動名	内容・備考
4 月 1 日～5 日	オリエンテーション	
5 月 21・22 日 6 月 10・27 日 10 月 4・10・16・22・28 日 11 月 1・7・19・25 日 1 月 20 日 2 月 7・18 日 (計 16 回)	スポーツレク	バドミントン・卓球・テニス
6 月 4・14 日 (全 2 回)	プランター園芸	プランターに植物の種子や苗を植える。 牛乳パックで花ラベルを作成
毎月	誕生月リクエスト給食	誕生月の利用者のリクエストの多かった昼食メニューを提供
8 月 20・21・23 日 (全 3 回)	夏祭り	各曜日実施。射的・光る人形浮き人形すくい・たこ焼きビンゴ・カラーボール玉入れ・虫取りゲーム ※景品あり
10 月 18・22・31 日・ 11 月 4・13 日 (全 5 回) 12 月 9～13 日 (全 5 回)	持ち帰り創作	① 令和 7 年カレンダー作り ② 正月飾り
随時	散歩	そうか公園周辺を散歩
8 月 7 日	水防避難訓練	近隣河川の氾濫を想定し 1 階から 2 階への垂直避難訓練を行った。
12 月 16・19・20 日 (全 3 回)	クリスマス会	・クリスマススペシャルレク ・職員による出し物 (余興) ・おやつにケーキ・ポップコーン ジュースを提供
1 月 6 日～10 日 (全 5 回)	書初め	書初め・書道展開催
5 月 27 日・6 月 6・7・ 12・13 日 (全 5 回)	バスハイク	さいたま市の鉄道博物館への見学及び昼食
6 月 18 日・7 月 2・16・ 30 日・8 月 6 日 6 月 17 日・7 月 1・15・ 22・29 日 8 月 16・30 日・9 月	グループ外出(外出)	ドライブ (草加市文化会館等) ドライブ (三郷ビバホーム等) ららぽーと新三郷 (外食と買い物)

13・27日・10月11日 10月1・15・29日・ 11月12・26日 10月9・30日・11月 6・24日・12月4日 1月15・29日・2月5・ 26日・3月5日 1月16日・2月6・20 日・3月6・20日		レイクタウンmori（外食と買い物） ららぽーと新三郷（外食と買い物） レイクタウンmori（外食と買い物） ららぽーと新三郷（外食と買い物） ※グループごとに話し合いを行い、どこ に行くか等を決めた。
1月31日 2月10日 3月12日	外部ゲスト	なんくるないさーず（沖縄民謡他） 大畑浩幸氏（ギター演奏） ドリームファンタジー（バイオリン演 奏）

(5) ボランティア受入状況

活 動 内 容	活動日数	延べ人数
介護ボランティア スポーツボランティア 演芸ボランティア	96	96

(軽食喫茶事業)

(1) レストラン利用者状況

令和6年度年間利用者延べ人数 9,162人

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者数	802	779	695	808	679	751		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度 合計
利用者数	822	745	689	775	726	891	9,162	8,082

草加市在宅福祉センター きくの里

I 在宅福祉センター事業

1 在宅福祉センター

(1) 介護予防拠点

市内の住民主体の介護予防教室「ジャンプ教室」を訪問し、活動の継続支援を行いました。また、介護予防普及啓発により、新たな「ジャンプ教室」の立ち上げができ、高年者の介護予防活動の拡大につながりました。

さらに、センターにおいて、介護予防教室「やる気元気！きくの里フィットネス」や運動以外の興味から介護予防につながるような講座を企画、実施しました。

(2) 地域包括支援センターの支援

地域包括支援体制の構築における中心的役割を担う各圏域の地域包括支援センターの訪問による聞き取りや事業参加を通して、各圏域が抱える課題の把握に努めました。また、課題を踏まえ、主に地域包括支援センター職員向けの研修会や交流会、事例検討会を開催するとともに、改善策の検討を行い、市へ提言しました。

(3) 介護事業者・専門職のネットワーク構築、介護の担い手の確保

介護サービス事業所連絡会の立ち上げ支援のために、通所介護、訪問介護事業所向け研修会を開催し、事業所が共に成長し機能強化が図れるような機会を作りました。

また、栄養士、歯科衛生士の専門職の把握に努め、関係機関と共有を図りました。

さらに、社会福祉協議会、シルバー人材センター等に出向き、相互理解を深めながら市民ボランティアの発掘に係る意見交換を行いました。

センターにおいては、ボランティア募集を行い、ボランティア発掘と活躍の場づくりを行いました。

(4) 介護に関する相談、介護等の助けとなる通いの場としての施設の活用

介護等に資する通いの場に係る施設の活用を促進するよう、地域に開放し、地域住民の活動の場として提供するとともに安心安全な施設管理に努めました。また、来館者の相談や電話相談に応じ、適切な関係機関へつなぐ等連携を図りました。

2 認知症総合支援センター

(1) 認知症支援コーディネーターの設置

認知症コーディネーターを中心に、認知症予防教室「そっかそうか！ブレインプログラム」を実施しました。

また、地域に出向きファイブ・コグを活用した認知機能検査を実施し、認知症予防の普及や認知症の理解促進に努めました。

さらに、介護者教室「ケアラーズスクール」を月1回実施し、介護者支援に努めました。

(2) 認知症の相談窓口

認知症(若年性認知症含む)に係る相談に対応し、認知症の人やその家族がその状況に応じた必要なサービスが受けられるように、関係機関と連携し、支援の検討を行いました。

(3) 認知症サポーター活動促進・地域づくり

認知症サポーター養成講座の主催及び開催支援を行いました。

認知症サポーターのボランティア活動の促進を図るとともに、チームオレンジ構築に向けて市と協議を行いました。

(在宅福祉センター事業)

1 在宅福祉センター

(1) 介護予防拠点

(単位：回・人)

項目	回数	延べ人数
ジャンプ教室	46	615
ジャンプ教室交流会	2	51
プレジャンプ教室	5	63
リーダー養成講座	7	76
合計	60	805

(単位：回・人)

開催期間	教室・講座等	回数	延べ人数
4～3月	やる気元気!きくの里フィットネス	9	224
5～2月	ファイブ・コグで認知症予防	12	208
5月	人生会議(ACP)を語ろう～人生の卒業を迎えるまでに～	1	19
8月	暑さに打ち勝つ!栄養講座	1	19
10月	楽しい♪癒しのパステルアート	1	19
1月	私だけの～軍手ペンギンをつくろう～	1	15
	合計	25	504

(2) 地域包括支援センターの支援

(単位：回)

項目	回数
地域包括支援センター訪問	8
研修、交流会等	5
地域支援室との打ち合わせ	4
代表者会議	12
職種別部会	15
地域ケア会議	21
合計	65

(単位：回・人)

開催期間	主催研修等	回数	延べ人数
5月	介護予防ケアマネジメント研修	1	34
6月	地域包括支援センター交流会 「虐待の支援について」	1	21
7月	地域包括支援センター職員基礎研修	1	10
8月	地域包括支援センター職員現任者研修「困難事例の向き合い方と事例検討」	1	22
10月	ピカジップ事例検討会	1	12
2月	地域包括支援センター交流会兼相談支援事業所連絡会	1	38
	合計	6	137

(3)介護事業者・専門職のネットワーク構築、介護の担い手確保

(単位：回)

(単位：回・人)

項目	回数
既存の介護事業者連絡会との連携	11
介護事業者（意向調査）	11
専門職の把握	1(8名)
専門職把握に係る連携	2
関係団体との連携	6
合計	31

開催 期間	主催研修等	回 数	延べ 人数
4月	ハラスメントに備える（動画配信）	1	102
9月	通所・訪問介護事業所合同研修会 「福祉人材確保・採用について考える」	1	17
9月	通所・訪問介護事業所懇親会	1	12
2月	ボディメカニクスに学ぶ腰を痛めない 移乗動作	1	19
	合計	4	150

(4)介護に関する相談、介護に資する通いの場に係る施設の活用

(単位：件・人)

(単位：回・人)

項目	件 数	延べ 人数
相談件数	12	12
貸館（ジャンプ教室 みんなで体操）	1	7, 15
貸館（その他）	4	44

開催 期間	施設活用の講座等	回 数	延べ 人数
4～3月	カラオケ	21	218
5、11月	壁面装飾	2	18
5月	スマホ教室	1	17
6月	防災について考えよう	1	26
7月	お薬と上手に付き合おう	1	32
7、8月	みんなでファイブ・コグ	2	18
12月	祝箸作り	3	14
〃	転ばぬ先の転倒予防	1	32
1～3月	認知症予防サロン	5	80
1月	新春かるた大会	1	21
〃	防犯講座	1	21
2月	みんなでコースターづくり	1	9
〃	ファイブ・コグで認知症予防	2	35
3月	THE 刺し子	2	25
〃	きくの里プランター部	1	11
〃	茶道体験	1	19
	合計	46	596

(5)施設来館者数の月別状況

(単位：人・日)

	来館者数			1日 平均	営業 日数
	男	女	合計		
4月	120	747	867	41.3	21
5月	137	754	891	42.4	21
6月	135	683	818	40.9	20
7月	111	799	910	39.6	23
8月	80	611	691	32.9	21
9月	103	609	712	35.6	20
10月	105	617	722	32.8	22
11月	97	613	710	33.8	21
12月	109	790	899	42.8	21
1月	97	656	753	37.7	20
2月	97	689	786	41.4	19
3月	126	731	857	39.0	22
合計	1,317	8,299	9,616	38.3	251

※令和6年度年間利用者延べ人数 9,616人

2 認知症総合支援センター

(単位：件・人)

(単位：回・人)

項目	件数	延べ人数	開催期間	主催事業等	回数	延べ人数
相談件数	12	36	4～3月	認知症カフェ オレンジカフェまねき猫	12	205
(うち若年性認知症)	5	23				
関係機関連携(相談等)	6		5月	ステップアップ交流会	1	13
			5～3月	ケアラーズスクール	11	210
			〃	認知症に関する出前講座	20	469
			〃	本人ミーティング	6	12
			7月	認知症サポーター養成講座	1	19
			9～12月	認知症予防教室 そっかそうか!ブレインプログラム	8	133
			12月	多職種協働研修「認知症VR体験会」	1	33
			3月	認知症予防教室 みんなで脳トレ体操	1	19
			9～3月	若年性認知症カフェ グリーンカフェ	6	115
			2月	ステップアップ講座	1	24
			3月	オレンジカフェ交流会	1	14
			5～3月	本人ミーティング	9	30
				合計	78	1296

介護総合支援センター

I 居宅介護支援事業

1 居宅介護支援

- (1) 利用者からの依頼により、在宅で日常生活を営むために必要な介護保険の居宅サービス等を適切に利用できるよう、利用者や家族の意向を確認するとともに、特定のサービス事業所に偏ることのないよう、公正・中立な立場で居宅サービス計画（ケアプラン）を作成しました。
- (2) 居宅サービス計画に基づき、利用者や家族の意向に沿った居宅サービス等が提供されるよう、サービス提供事業者やその他関係者との連絡調整を行い、定期的に、また必要に応じて担当国会議を開催しました。
- (3) 利用者が介護保険施設等への入所を要する場合には、介護保険施設等の情報提供その他の便宜を図りました。
- (4) 居宅サービス計画の作成後においては、利用者宅への訪問や関係機関との連絡を継続的に行うことにより、利用者の状態やサービスの実施状況を確認、評価し、解決すべき課題の把握と、必要に応じて、居宅サービス計画の変更、事業者等との連絡・調整及びその他の便宜を図りました。

2 感染症対策

- (1) 職員及び利用者への感染症の拡大を防止するため、手洗い等の衛生管理に努めました。
- (2) 感染の拡大が発生した際に利用者が受ける支援が滞ることのないように、BCPの策定及び感染症予防及び蔓延防止のための指針における感染症対策委員会を開催しました。

3 その他

- (1) 市区町村から要介護認定申請に係る調査の依頼を受け、介護支援専門員が介護認定調査員として調査業務を行いました。
- (2) 居宅介護支援に関わる市区町村への申請手続を代行しました。
- (3) 介護保険の対象となる住宅改修や福祉用具購入等に関わる理由書等の作成の支援を行いました。

II 地域包括支援センター事業

1 包括的支援事業

(1) 総合相談・支援

- ① 各種相談に総合的に応じ、個々の高年者のニーズを的確に把握し、適切なサービスの利用に繋げる等の支援を行いました。
- ② 介護サービス事業者や関係機関、民生委員、町会等、高年者の生活に関わる様々な人々とのネットワークづくり(地域包括支援ネットワークの構築)として、

地域資源の共有と顔の見える関係性作りを行いました。

③ 家族介護者の支援や認知症に関する相談及び認知症予防の普及啓発に関する事業等を行いました。

④ あんしん見守りネットワーク登録事業者や、市からの利用者に関する情報提供があった場合には、速やかに現状を把握し、適切な支援等を行いました。

(2) 権利擁護

① 複合的課題を抱える等、支援困難な状況にある高年者が、地域において安心して尊厳のある生活を送ることができるよう、専門的・継続的な視点から適切なサービスに繋げる支援を行いました。

② 成年後見制度の活用、高年者虐待への対応、消費者被害の防止等について、諸制度を活用し高年者の生活や権利を守る支援を行いました。また、支援困難事例への対応としてケア会議を開催する等、状況改善に努めました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

① 地域の高年者及びその家族の個別支援における包括的・継続的なケアを実施するために、介護サービス事業者、医療機関等の関係機関及び地域のインフォーマルサービスとの連携強化を図りました。

② 介護支援専門員に対して交流会を開催し、利用可能な社会資源の情報共有を行うなど活発な意見交換と関係性の強化に努めました。

③ 個別、または圏域における地域ケア会議を開催し、リタイア後の男性の孤立・孤独と言った課題解決につながる講座や情報交換・交流を行いました。

また、市で開催する自立支援型地域ケア会議での事例提供者として出席をしました。

(4) 認知症総合支援

認知症地域支援推進員を配置し、認知症の方が容態に応じて必要な医療・介護等のサービスを受けられるよう、関係機関との連携体制の構築と認知症及び若年性認知症の方や家族等への相談支援を行いました。

また、市民が認知症に関する知識を深められるよう「認知症サポーター養成講座」「みんなの認知症展」「認知症サポーターステップアップ講座」を開催しました。

市と連携し認知症ガイドブック改版の準備に取り組みました。

(5) 在宅医療・介護連携及び生活支援体制の整備

在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて、事業者交流会を開催し連携の輪を広げました。

協議体等に参加し、協働して地域づくりに取り組みました。また、地域住民と連携し地域密着型サービス事業所の運営を支援しました。

(6) 介護予防ケアマネジメント

要介護状態等となることの予防又は自立した日常生活の支援を目的とし、高年者の心身の状況、その置かれている環境や状況に応じて、高年者自らの選択に基づき、適切なサービスが包括的かつ効率的に提供されるよう、専門的な視点からケアプラン作成を行うとともに、その他の介護予防ケアマネジメント事業に関する必要な支援を行いました。

2 一般介護予防事業

地域の高年者世帯への個別訪問、出前講座の開催、認知症検診等のデータを活用するなど関係機関との連携を通じて状況把握を行い、ホップ教室等への参加につなげました。

また、介護予防普及啓発事業を実施する等、介護予防に関する講座の開催等を通じて、住民主体の介護予防活動が円滑に実施できるよう関係者と連携するとともに介護予防手帳等を活用しセルフケアマネジメントにつなげました。

3 指定介護予防ケアマネジメント事業

介護保険法第115条の22の規定に基づく指定介護予防支援事業者として予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用等を行うことができるよう必要な支援を行いました。

(居宅介護支援事業)

(1) 契約者数の推移 (請求数)

令和6年度年間利用者延べ人数1,735人

(単位:人)

年度 月	令和6年度			前年度		
	利用者	新規	終了	利用者	新規	終了
4月	141 (7)	2	8	133 (1)	8	8
5月	142 (7)	3	0	140 (1)	5	6
6月	153 (7)	8	5	137 (0)	2	6
7月	150 (7)	6	4	139 (2)	10	1
8月	147 (7)	3	3	134 (3)	7	6
9月	146 (6)	2	3	142 (3)	7	5
10月	140 (7)	2	3	146 (4)	8	5
11月	147 (8)	4	2	151 (6)	7	3
12月	144 (8)	4	6	144 (9)	9	3
1月	140 (10)	2	2	143 (9)	5	6
2月	143 (9)	4	1	138 (9)	5	3
3月	142 (9)	3	6	143 (7)	7	2
合計	1,735 (92)	43	43	1,690 (54)	80	54
月平均	144, 5 (7, 6)			140.0 (4, 5)		

※ () は介護予防支援

(2) 要介護度別利用者数 (請求数)

(令和7年3月31日現在)

(単位:人)

区分	請求人数	
	令和6年度	前年度
要支援	8	7
要介護1	61	61
要介護2	39	51
要介護3	24	13
要介護4	16	12
要介護5	4	6
合計	152	150

(3) 要介護者年齢階層別利用者数 (令和7年3月31日現在)

(単位：人)

年齢区分	利 用 者 数	
	令和6年度	前年度
～ 64 歳	5	4
65 歳 ～ 69 歳	5	6
70 歳 ～ 74 歳	1 0	1 5
75 歳 ～ 79 歳	1 4	1 8
80 歳 ～ 84 歳	2 6	3 4
85 歳 ～ 89 歳	5 0	3 7
90 歳 ～	3 4	3 6
合 計	1 4 4	1 5 0

(4) 要介護者男女別利用者数 (令和7年3月31日現在)

(単位：人)

性別	利 用 者 数	
	令和6年度	前年度
男 性	5 9	4 9
女 性	8 5	1 0 1
合 計	1 4 4	1 5 0

(地域包括支援センター事業)

(1) 総合相談支援

(令和7年3月31日現在)

区 分		件 数	
		令和6年度	前年度
1 相談件数	電話	5, 294件	4, 303件
	来所	342件	286件
	訪問	1, 505件	1, 328件
	合 計 (年間延べ件数)	7, 141件	5, 917件
2 権利擁護	成年後見制度に関すること	6 (実件数)	2 (実件数)
	高齢者虐待に関すること	91 (実件数)	16 (実件数)
	合 計	97 (実件数)	18 (実件数)
3 介護予防ケアマネジメント	介護予防サービス計画数	1, 576件 (請求件数)	1, 506件 (請求件数)
	介護予防・生活支援サービス計画数	1, 098件 (請求件数)	1, 190件 (請求件数)
	合 計	2, 674件 (請求件数)	2, 696件 (請求件数)
4 包括的・継続的ケアマネジメント	地域ケア会議の開催	6回	5回
	事業者交流会の開催	2回	2回
	合 計	8回	7回
	ケアマネジャーからの相談	276件	163件
	介護サービス事業者からの相談	1, 752件	1, 321件
	合 計	2, 028件	1, 484件
5 その他	地域包括支援センター会議への参加	12回	12回
	保健師・看護師会議への参加	6回	6回
	主任介護支援専門員会議への参加	7回	5回
	社会福祉士会議への参加	9回	8回
	合 計	34回	31回

(2) 地域活動報告

(令和7年3月31日現在)

事業内容	実施回数
介護者のつどい	10回
圏域内地域ケア会議	3回
谷塚中央地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚東部地区介護予防普及啓発事業	6回
谷塚中央地区民生委員意見交換会	1回
谷塚東部地区民生委員意見交換会	1回
谷塚中央地区第二層協議体会議	10回
谷塚東部地区第二層協議体会議	6回
個別地域ケア会議	1回
圏域内ケアマネ交流会	3回
圏域内事業者交流会	2回
認知症サポーター養成講座	1回
谷塚中央・谷塚東部地域ネットワーク会議	1回
出前講座	11回

草加市高年者福祉センター ふれあいの里

I 高年者福祉センター事業

1 各種事業・講座等の実施

高年者の知識・教養の向上を目的とした健康や生活に関する講座、歴史や料理等趣味活動につながる教室を開催するとともに、介護予防に特化した事業を開催しました。

さらに、「みんなで楽しく頭の体操」のリニューアルや運動強度の高い「ふれあい筋力アップ体操」を新規事業として開始しました。

また、世代間交流として「ふれあいジュニア大学」を開催し、高校生との交流やモルック教室・将棋体験等子どもが楽しく学ぶ力を育みながら、子どもたちが暮らしている地域の方とのつながりを深める機会となりました。

2 世代間交流事業

地域の活性化と地域住民との交流を目的とした世代間交流事業として、夏休み★こどもラジオ体操の実施、近隣保育園児の発表や昔あそび等を通して、子どもと高年者が自然に交流できる事業を展開しました。また、夏休み以外でも、子どもが学習できる環境を整えました。

また、谷塚西部地区ブロック7町会や市内団体等のご協力をいただき、「ふれあいの里まつり ～輝きを感じて～」を開催しました。模擬店のほかにもふれあいの里企画「にこにこ多世代サロン楽楽」や「だれでもドリル」等、世代を超えた交流の機会となりました。

3 健康相談・生活相談等の実施

看護職員による血圧測定や嘱託医による健康相談を実施し、心身の健康維持や不安解消等の助言に努めました。

また、利用者が抱える様々な悩みや介護等の不安を軽減できるよう専門職員が生活相談を実施し、関係機関につなげる等、安心した生活を送れるよう支援しました。

4 すこやかクラブ、サークル活動団体等の利用促進と育成

市や社会福祉協議会等関係機関と連携を図り、すこやかクラブの利用促進に努めました。

また、サークルの活性化を目的に「ふれあいの里文化祭 ～輝きを感じて～」を開催し、同じ趣味を持つ仲間づくりの機会を提供するとともに、日々の成果を発表することで高年者の活躍の場・生きがいつくりの創出を図りました。さらに、新規サークルの立ち上げを目的とし、主催事業からサークル化への移行に向け、側面的支援に努めました。

5 貸館事業

高年者の余暇活動の充実と交流等の場を提供するため、高年者やサークル等を対象に、和室・研修室等の貸出を行いました。

また、地域住民等に対しても、交流広場・多目的室等を開放するほか、和室・研

修室等の貸出を行いました。

6 施設利用の促進

利用者のニーズに合わせた事業展開を行い、多くの方が利用できるよう市内主要駅周辺を基本ルートにマイクロバスによる送迎サービスを実施し、施設の利用促進を図りました。令和6年7月からは、であいの森への暫定直行便を運行し、浴場の利用ニーズへの対応及びマイクロバスの利用率向上に向けて取り組みました。

また、利用者や市民からの苦情・要望等を真摯に受け止め、安心・安全で誰もが楽しめる施設利用に努めました。

(高年者福祉センター事業)

(1) 令和6年度年間利用者延べ人数 43,332人

(2) + (3) + (4) + (6) + (8) + (9) の合計値

(2) 健康等相談の利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位：件)	
件数	79	105	161	132	64	109		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
件数	84	74	98	90	97	69	1,162	675

(3) 教養講座等の開催

(単位：回・人)

期 間	講 座 名	回 数	参加延人数
4月2日～3月23日	みんなで楽しく頭の体操	47	1,384
4月15日～3月15日	にこにこサロン楽楽	11	147
4月20日	健康講座「脂質異常と動脈硬化」	1	37
4月25日～3月12日	折り紙活動～オリカツ～	11	135
5月18日	体力測定会①	1	26
5月22日～3月26日	介護予防普及事業（共催事業）	10	152
6月14日～8月2日	ハピネスエクササイズ	8	178
6月24日	いつもの食材で本場の中華料理を作ろう	1	8
7月16日	和紙と折り紙を使った「朝顔リース」を作ろう	1	8
7月20日～8月27日	夏休み★こどもラジオ体操	39	557
7月24日～8月19日	ふれあいジュニア大学	5	44
8月1日～10月17日	健幸寿命で自分らしく 介護予防講座	10	113
9月3日～11月5日	モルックを楽しむ & 交流戦	9	90
9月29日～3月18日	ふれあい筋力アップ体操	7	146
10月13日	ふれあいの里文化祭 ～輝きを感じて～	1	262
10月19日	健康講座「睡眠障害」	1	31

11月1日	歴史講座 「埼玉を知る！～鉢形城主北条氏邦～」	1	17
11月26日	体力測定会②	1	30
11月28日	軍手人形～来年の干支巳を作ろう～	2	30
12月6日	ふれあいの里カーレットで遊ぼう	1	18
12月17日～12月21日	いやしの足湯	5	109
1月20日	簡単美味しい和食料理～男性歓迎！～	1	10
2月14日	生活講座「高齢者を詐欺被害から守る」	1	17
2月23日	ふれあいの里まつり ～輝きを感じて～	1	770
3月6日	災害時の簡単料理！	1	12
3月11日	歴史講座 「埼玉を知る！～埼玉古墳群～」	1	28
合 計		178	4,359

※他に開放事業として、ラジオ体操（毎朝）・大人のドリル（毎週月曜日／9月～第1・3・5月曜日）を実施している。

(4) すこやかクラブの利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(単位：団体・人)	
区分	7	15	9	12	5	14		
団体数	7	15	9	12	5	14	(単位：団体・人)	
利用者数	116	115	128	128	77	146		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	前年度合計
区分	7	12	9	11	7	12	120	132
団体数	7	12	9	11	7	12	120	132
利用者数	112	121	128	151	113	95	1,430	1,498

(5) 高年者の送迎サービス状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
往路	75	111	108	118	54	107		
復路	135	168	162	153	102	160		
計	210	279	270	271	156	267	(単位：人)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
往路	106	111	128	125	108	95	1,246	2,913
復路	159	167	172	168	151	168	1,865	2,913
計	265	278	300	293	259	263	3,111	5,826

(6) 浴室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分								
男	0	0	0	0	0	0		
女	0	0	0	0	0	0		
計	0	0	0	0	0	0	(単位：人)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度合計
区分								
男	0	0	0	0	0	0	0	0
女	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) サークル活動の状況

(単位：人・回)

サークル名	会数	活動回数	サークル名	会数	活動回数
エンジョイハピネス	12	11	新里将棋同好会	30	228
健康アップクラブ	19	25	花みずき	17	50
光友会	8	10	ハーモニカクラブ	11	25
コーラス風	13	24	ファイブステップ	11	44
スイトピーヨガ	21	25	ふでびより	3	21
スピリチュアルヨガ	12	35	芙蓉会	6	13
陶芸友の会	15	53	ふれあいの里健康体操の会	15	22
陶芸ロクロの会	10	53	ポピー	16	46
虹のキャンバス	12	22	よさこい新里	11	41
合 計				242	748

(令和7年3月31日現在)

(8) 研修室等の利用状況

() 内は団体数 (単位:人)

月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	1 0 月
研修室 1・2・3	(76) 599	(74) 624	(72) 604	(75) 575	(66) 506	(70) 608	(64) 541
研修室 4 調理実習室	(39) 338	(35) 294	(35) 232	(39) 279	(42) 269	(52) 276	(43) 213
音楽室	(48) 56	(31) 37	(38) 80	(62) 74	(81) 101	(48) 71	(38) 49
工芸室	(21) 158	(21) 172	(22) 171	(25) 187	(26) 155	(23) 184	(18) 155
和室 板の間	(14) 70	(11) 68	(12) 62	(10) 60	(5) 30	(12) 66	(10) 60
大集会室	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
小集会室	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
開放施設	1,741	1,869	1,928	2,155	2,266	1,908	1,896
合 計	(198) 2,962	(172) 3,064	(179) 3,077	(211) 3,330	(220) 3,327	(205) 3,113	(173) 2,914
月 区分	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月	総 数	
研修室 1・2・3	(69) 549	(72) 620	(57) 498	(70) 519	(60) 493	(825) 6,736	
研修室 4 調理実習室	(37) 161	(32) 137	(30) 186	(19) 114	(16) 125	(419) 2,624	
音楽室	(35) 54	(33) 52	(26) 50	(14) 26	(22) 38	(476) 688	
工芸室	(16) 138	(16) 128	(10) 93	(10) 92	(11) 96	(219) 1,729	
和室 板の間	(12) 64	(13) 75	(12) 64	(12) 71	(18) 85	(141) 775	
大集会室	(0) 0	(2) 72	(3) 146	(0)	(0)	(5) 218	
小集会室	(0)	(1) 5	(0)	(0)	(0)	(1) 5	
開放施設	1,992	2,005	1,912	1,867	2,021	23,560	
合 計	(169) 2,958	(169) 3,094	(138) 2,949	(125) 2,689	(127) 2,858	(2,086) 36,335	

(9) 見学者受け入れ状況

(単位：人)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
見学者	4	8	8	0	0	4	0	7	2	3	1	9	46

草加市障害者グループホーム ひまわりの郷

I 共同生活援助（グループホーム）事業

1 日常生活支援

- (1) 利用者の嗜好を考慮し、誕生会のケーキやバラエティに富んだ季節感のある食事を取り入れ、満足度の向上を図りました。
また、個々の状態に応じた食事提供を行い、安全に楽しく食事が摂れるよう工夫をしました。
- (2) 排せつ及び入浴について、利用者個々の能力や身体状況に応じた適切な支援を行いました。
- (3) 身だしなみや清潔さに配慮し、健康的な日常生活が送れるよう引き続きアルコール消毒の徹底を行い、必要に応じて季節毎の衣替えや衣類等の整理・整頓の支援を行いました。
- (4) 衣料品、靴及び日用品等の購入代行の他、ご家族にも参加いただいて訪問販売を季節に応じ行い、充実した生活が送れるよう支援を行いました。

2 相談及び援助

利用者及びその家族等が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、利用者や家族等の相談に応じるとともに、日中活動施設に近いグループホームへの移行等、適切な助言・援助等を行いました。

3 健康管理、服薬管理及び通院付添等

- (1) 利用者の心身の観察と疾病や感染症の予防等に努めるとともに、日中活動施設等との連携を図り、健康状態の把握に努めました。
また、利用者に対してインフルエンザワクチン予防接種の支援を行い、感染予防に努めました。
- (2) 医療機関、家族等と連携し、服薬治療を必要とする利用者が適切に服薬できるよう、個々に合わせた介助及び支援を行いました。
また、通院の必要性がある場合は、早期に受診することで重度化の防止に努め、必要に応じて付き添いの支援を行いました。
- (3) 身体機能の維持・向上及び心身のリフレッシュを目的に、日中活動施設等が休みの日には散歩や季節行事を行いました。

4 家族・日中活動施設等との調整

家族（又はそれに代わる支援者）及び日中活動施設等と連絡を密に取り合い、利用者の状況を的確に把握し、円滑で安定した生活が送れるよう支援しました。
また、家族等に適宜報告及び相談をしながら日中活動施設等との諸手続を行いました。

5 預り金等の財産管理

生活支援上必要な現金等の財産の管理について利用者に代わり家族等から依頼を申し受ける際には、現金の受け渡しや金庫への保管等、適切に取り扱いました。

6 余暇支援

レクリエーション活動や外出を通して、様々な体験をしながら利用者の心身のリフレッシュを図り、生活訓練の習得を兼ねた支援を行いました。

また、日中活動施設等が休館の場合は、利用者に洗濯や掃除などの生活に必要な技術の訓練を行い、自立した生活が送れるよう支援を行いました。

7 家族間交流

家族会は定期的を開催し、ひまわりの郷の状況等、情報をお伝えするとともに、家族間の情報交換や職員を含め交流の機会を設けました。

II 短期入所（ショートステイ）事業

1 緊急一時保護

地域生活支援拠点の担い手としての使命を果たすべく、市内の緊急かつ一時的な保護を必要とする障がい者に対して可能な限り受け入れ、短期入所のサービスを実施しました。

また、短期入所の定員のうち1名分は、緊急一時保護のために確保しました。

2 介護の負担軽減（レスパイト）

居宅で障がい者を介護する家族等の負担を軽減するため、短期入所を実施しました。

3 生活訓練

障がい者自身の生活の質を高めるための生活訓練の機会として、サービスを提供しました。

共同生活介護（グループホーム）事業)

(1) 入居状況（定員 30 人）

（単位：人）

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人 数	男性	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	
	女性	8	8	8	8	8	8	
	合計	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	3 0	
月		1 0月	1 1月	1 2月	1月	2月	3月	合 計
人 数	男性	2 2	2 2	2 2	2 2	2 1	2 1	2 6 2
	女性	8	8	7	7	7	8	9 3
	合計	3 0	3 0	2 9	2 9	2 8	2 9	3 5 5

令和6年度年間利用者延べ人数 10,375人

(2) 年齢別状況（令和7年3月31日現在）

（単位：人）

性別 \ 年齢	30歳～ 34歳	35歳～ 39歳	40歳～ 44歳	45歳～ 49歳	50歳～ 54歳	55歳～ 59歳	60歳～ 64歳	65歳～ 69歳	70歳～ 74歳	平均 年齢
男性	0	2	1	2	10	3	2	0	1	52.3歳
女性	0	1	1	0	3	1	2	0	0	51.9歳
合計	0	3	2	2	13	4	4	0	1	52.2歳

※ 最少年齢 35 歳 最高年齢 73 歳

(3) 障害支援区分（令和7年3月31日現在）（単位：人）

性別 \ 区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	3	3	8	7	21
女性	1	0	2	2	3	8
合計	1	3	5	10	10	29

(4) 施設見学受入状況

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人	0	2	0	0	0	0	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
人	0	0	0	1	0	0	3

(短期入所 (ショートステイ) 事業)

利用状況

(単位：人・日)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
訓練・レスパイト	2	4	5	4	5	2	
緊急	0	0	0	0	0	0	
合計	2	4	5	4	5	2	
延べ利用日数	14	14	19	15	17	13	
月 区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訓練・レスパイト	4	3	1	0	2	0	32
緊急	0	1	1	1	1	1	5
合計	4	4	2	1	3	1	37
延べ利用日数	7	19	19	28	30	31	226

令和6年度年間利用者延べ人数 226人

障害者総合支援センター

I 基幹相談支援センター

1 総合的・専門的な相談支援の実施

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、障がい者やその保護者及び障がい者等の介護を行う者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言等を行うとともに、障がい者等に対する虐待の防止とその早期発見のための関係機関との連絡調整を行いました。

2 成年後見制度利用の支援

成年後見制度を利用することが有用であると認められる障がい者及び関係者に、利用に対する助言、情報提供を行いました。

3 地域の相談支援体制強化への取り組み

- (1) 市内の相談支援専門員の支援力向上を図るため、相談支援事業所連絡会を適宜実施し、相談支援専門員の困りごとについての支援、地域資源の共有等を行いました。
- (2) 複雑・困難なケースへの支援として指定相談支援事業所等の後方支援を実施するとともに、個別支援会議を適宜開催しました。
- (3) 地域の相談支援事業者の人材育成支援のため、研修会の企画・運営を行いました。
- (4) 地域生活支援拠点等の整備における「体験の機会・場」を円滑に提供できるよう、クラウドシステムを活用した環境整備を行いました。
- (5) 地域の福祉サービス事業者、医療機関、民生委員等との連携を図るよう努めました。継続した連携のほか、医療機関や地域包括支援センターからの依頼を受けて連携をする機会がありました。
- (6) 障がい者差別解消支援地域協議会への参加、虐待防止センターと虐待に関する情報を共有し対応を検討する等、虐待防止や権利擁護に努めました。

4 特定相談支援事業の実施

- (1) 障がい者の様々なニーズを把握するため、基本相談を実施しました。
- (2) 利用者本位に立ち、アセスメントを実施し、サービス利用支援を行いました。
- (3) サービス計画実施後のモニタリングを行い、継続サービス利用支援を行いました。

5 利用者の生活の質の向上

障がい者とその家族の地域生活を支援するため、多様なニーズへのきめ細やかな対応に努めました。一人ひとりの相談に応じ、それぞれの問題解決に向けて適切な情報提供や助言を行い、関係機関と連携し、必要な障害福祉サービス等につなげていきました。

また、個別のケースを通じて把握したニーズや課題を自立支援協議会の運営等に活かし、地域生活支援拠点等の運用の動きとともに相談支援体制の整備につなげるよう努めました。

なお、自立支援協議会については、これまで本協議会が抱えてきた諸課題の解決に向け、組織の再編や各機能の強化、協議におけるプロセスの明確化等を図るとともに、より有意義な協議会運営の実現に努めました。

創意工夫による柔軟な対応を心がけ、インフォーマルな支援を含め、身近な地域での継続的な関わりができるよう社会資源を活用し、適切な役割分担によりサービスの向上を図りました。

6 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

II 東部障がい者就業・生活支援センター みらい

草加市障害者就労支援センター

1 就労相談

東部障がい者就業・生活支援センターみらい及び草加市障害者就労支援センター（以下「センター」という。）では、利用者又は家族その他支援機関や事業所からの就労及び職場定着に関する相談を行いました。この相談では、障がい特性の把握に関しアセスメントシートの作成を行い、支援の際の適切なツールとして活用しました。

2 アセスメント

基本は、電話予約にてセンターへ訪問していただき、初回面談の際にセンターの説明を行いました。継続的な支援を希望される方は引き続き面談等を通じてアセスメントを行いました。

さらに、基本的な労働習慣や障がいの自己理解などに不足が生ずる場合には、併設施設又は提携施設等の訓練又は埼玉県職業能力開発センターの委託訓練や障害者職業センターの職業評価等を紹介し、様々な訓練を利用しながら状況把握を行いました。

3 就労前支援

利用者及びご家族のための企業見学の提案を行い、利用者の就労意欲の向上と本人の希望の確認等を行い、マッチングを図りました。そのために、様々な職種の職場実習先の開拓や関係機関の訓練を利用しながら、アセスメント兼体験の場及びマッチングの場として活用しました。

4 職場開拓

管轄ハローワークからの事業所情報を基本とし、事業所情報があった場合には、センターの職員が事業所の訪問や見学を行うとともに、事業所の職場環境と仕事内容を確認し、該当する利用者のイメージや障害特性を基にマッチングを図りました。

また、センターの独自開拓や埼玉県障害者雇用総合サポートセンター及び他市の障害者就労支援センター等と連携を図り、地域企業の開拓を行い、情報の共有に努めました。

5 集中支援

就労前や就労開始時期から集中的な支援が必要とされる場合は、ハローワーク、障害者職業センターや埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ派遣依頼、必要に応じて他市の障害者就労支援センターや施設、特別支援学校及びセンターで情報共有を行い、各機関が協力して支援ができるよう連携を図りました。

6 定着支援

就労後から半年程度の定期的な訪問や連絡は、企業と利用者の状況を踏まえて行い

ました。

また、他市の障害者就労支援センターや施設、特別支援学校、障害者職業センター及び埼玉県障害者雇用総合サポートセンターのジョブコーチ等と連携を図りながら適切な支援を行いました。

定着支援に関しては、利用者の状況を踏まえて支援の頻度を減らしていき、本人が自立して働けるよう支援を行いました。同時に企業に対しては、センターの支援方針を理解いただきながら障害者雇用が円滑に進められ継続できるよう支援しました。

7 地域ネットワークの構築及び活用

草加市障害者就労支援センターとして、地域の就労支援が円滑かつ効果的に行われるよう、草加市障害者就労支援連絡会を開催しました。

また、一般就労している障がい者の方や就労を目指している障がい者の方に対して「在職者交流活動及びピアサポート活動」を定期的を開催し、働くことの基本的な労働習慣を学び、就労のモチベーションが維持できるようグループワーク等で話し合い職場定着の促進に繋げるとともに、障がい者同士の交流の場を提供し、支え合う気持ちをピアという方法で高め合いました。

さらに、東部圏域市就労支援センター連絡会を開催し、みらいを中心とした圏域内の各市障害者就労支援センターとの連携強化を図りました。

8 苦情処理

苦情を迅速に受け付け、内部で検討会議を開き適切な対応を図りました。

(草加市基幹相談支援センター)

(1) 支援方法 (令和 7 年 3 月 31 日現在) (単位：件・人)

区 分	件 数	うち発達障害
訪問	731	26
来所相談	144	8
同行	107	10
電話相談	2,642	70
電子メール	228	3
FAX・郵便	59	2
個別支援会議	145	5
関係機関連携	2,977	84
その他	48	0
合 計	7,081	208

(2) 登録者等人数 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

種 別	人 数
登 録 者	583
うち一般相談	342

(3) 登録者等障がい別人数 (令和 7 年 3 月 31 日現在) (単位：人)

区 分	身 体	知 的	精 神	発達障害	手帳なし	計
登 録 者	56	425	78	5	19	583
	【30】	【218】	【70】	【5】	【19】	【342】
重複障害	21	48	7	0	0	76

【 】内は一般相談

(4) 計画相談 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

種 別	人 数
新 規 計 画	0
モニタリング・継続計画	288
モニタリング	301

(5) 支援内容（令和7年3月31日現在）

（単位：件・人）

区 分	件 数	うち発達障害
① 福祉サービスの利用に関する支援	5,043	142
② 障害や病状に関する支援	1,187	72
③ 健康・医療に関する支援	877	53
④ 不安の解消・情緒不安定に関する支援	259	5
⑤ 保育・教育に関する支援	37	0
⑥ 家族関係・人間関係に関する支援	605	12
⑦ 家計・経済に関する支援	364	2
⑧ 生活技術に関する支援	91	2
⑨ 就労に関する支援	301	6
⑩ 社会参加・余暇活動に関する支援	33	3
⑪ 権利擁護に関する支援	200	4
⑫ 地域移行に関する支援	2	0
⑬ その他	99	3
合 計	9,098	304

（延べ件数）

(6) 関係機関との連携強化及び人材育成等の取り組み（令和7年3月31日現在）

① 自立支援協議会

月 日	会 議 名
4月9日	第1回相談支援部会
4月12日	第1回権利擁護部会
4月6日	第1回運営会議
5月13日	第1回就労支援部会
5月17日	第2回権利擁護部会（事例検討会）
5月21日	第2回運営会議
6月11日	第2回相談支援部会
6月18日	第3回運営会議
6月21日	第3回権利擁護部会
6月25日	第1回こども部会
7月5日	第4回権利擁護部会（事例検討会）
7月16日	第4回運営会議
7月23日	第2回こども部会
8月19日	第2回就労支援部会
8月20日	第5回運営会議

8月27日	第3回相談支援部会
9月17日	第6回運営会議
9月20日	第5回権利擁護部会（事例検討会）
10月8日	第4回相談支援部会
10月11日	第6回権利擁護部会
10月15日	第7回運営会議
11月18日	第3回就労支援部会
11月19日	第8回運営会議
11月26日	第3回こども部会
11月29日	第7回権利擁護部会（事例検討会）
12月10日	第5回相談支援部会
12月13日	第8回権利擁護部会
12月17日	第9回運営会議
1月10日	第9回権利擁護部会（事例検討会）
1月21日	第10回運営会議
2月17日	第4回就労支援部会
2月18日	第4回こども部会
2月18日	第11回運営会議
2月21日	第10回権利擁護部会
2月25日	第6回相談支援部会
2月26日	第12回運営会議
3月14日	第11回権利擁護部会（事例検討会）
3月18日	全体報告会

②主催

月 日	会 議 名
4月6日	第1回委託会議
4月9日	第1回相談支援事業所連絡会
5月21日	第2回委託会議
5月28日	ストレングスモデル研修（1日目）
5月29日	ストレングスモデル研修（2日目）
6月11日	第2回相談支援事業所連絡会
6月18日	第3回委託会議
7月16日	第4回委託会議
8月20日	第1回GSV（グループ・スーパー・ビジョン）
8月27日	第3回相談支援事業所連絡会
9月17日	第5回委託会議
10月8日	第4回相談支援事業所連絡会

10月15日	第6回委託会議
11月19日	第7回委託会議
11月19日	第2回GSV（グループ・スーパー・ビジョン）
12月10日	第5回相談支援事業所連絡会
12月17日	第8回委託会議
1月21日	第9回委託会議
2月18日	第10回委託会議
2月18日	第3回GSV（グループ・スーパー・ビジョン）
2月25日	第6回相談支援事業所連絡会
3月18日	第11回委託会議

③他機関開催

4月22日	第1回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
5月10日	こころの支援専門連絡会第1回定例会
6月21日	こころの支援専門連絡会第1回事例検討会
6月27日	ブロック別つながり会議
7月26日	こころの支援専門連絡会第2回事例検討会
7月29日	第2回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
8月2日	こころの支援専門連絡会第1回勉強会
8月7日	第1回草加こもりびとサポートネットワーク
8月23日	こころの支援専門連絡会第2回定例会
9月30日	東部ブロック相談支援体制整備検討会議
10月18日	こころの支援専門連絡会第3回事例検討会
10月28日	第2回草加こもりびとサポートネットワーク
11月8日	ブロック別つながり会議
11月18日	こころの支援専門連絡会第2回勉強会
12月13日	こころの支援専門連絡会第3回定例会
12月20日	こころの支援専門連絡会第4回事例検討会
12月23日	第3回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会
2月21日	こころの支援専門連絡会第5回事例検討会
3月24日	第4回東部ブロック基幹相談支援センター連絡会

④講演依頼

6月13日	居宅介護支援事業所 勉強会
6月24日	であいの森地域活動支援センター 勉強会
12月23日	草加市市民後見人養成研修

(東部障がい者就業・生活支援センターみらい)

(1) 相談件数（来所・電話メール等含む）

区 分	身 体	知 的	精 神	その他	計
来所	6 7	4 3 9	3 1 5	3	8 2 4
電話・E mail	2 6 5	1, 9 4 2	1, 1 9 7	4 0	3, 4 4 4
職場訪問	7 2	8 1 9	2 8 3	2	1, 1 7 6
家庭・利用施設 への訪問	4	3 5	1 1	0	5 0
その他	1	6	7	0	1 4
合計	4 0 9	3, 2 4 1	1, 8 1 3	4 5	5, 5 0 8

(2) 登録者等人数（令和7年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	人 数
登 録 者	1, 4 0 4
就 職 者	9 4 8

(3) 登録者等障がい別人数（令和7年3月31日現在）（単位：人）

区 分	身 体	知 的	精 神	計
登 録 者	1 2 5	8 6 0	4 1 9	1, 4 0 4
就 職 者	7 8	6 4 5	2 2 5	9 4 8

(4) 職場実習のあっせん状況（単位：人）

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	4	1 2	7	2 3

(5) 一般事業所への就職件数（＊1カ月以上の雇用、A型除く） （単位：人）

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	6	4 3	2 8	7 7

(6) 定着率（1年経過時点、令和5年4月から令和6年3月末までの就職者） （％）

区 分	身 体	知 的	精 神
定着率	7 5	8 5. 1	7 1. 9

(草加市障害者就労支援センター)

(1) 相談件数（来所・電話メール等含む）

区 分	身 体	知 的	精 神	その他	計
来所	5 5	2 5 1	2 4 7	0	5 5 3
電話・Email	1 8 2	1, 1 2 7	8 7 0	0	2, 1 7 9
職場訪問	4 7	4 5 8	2 0 5	0	7 1 0
家庭・利用施設への訪問	2	2 5	8	0	3 5
その他	1	3	7	0	1 1
合計	2 8 7	1, 8 6 4	1, 3 3 7	0	3, 4 8 8

(2) 登録者等人数（令和7年3月31日現在）

（単位：人）

区 分	人 数
登 録 者	7 0 9
就 職 者	4 5 5

(3) 登録者等障がい別人数（令和7年3月31日現在）（単位：人）

区 分	身 体	知 的	精 神	計
登 録 者	8 2	3 7 1	2 5 6	7 0 9
就 職 者	4 9	2 6 9	1 3 7	4 5 5

(4) 職場実習のあっせん状況（単位：人）

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	4	1 0	7	2 1

(5) 一般事業所への就職件数（＊1カ月以上の雇用、A型除く）

（単位：人）

区 分	身 体	知 的	精 神	計
件数	5	3 3	2 3	6 1

(6) 定着率（1年経過時点、令和5年4月から令和6年3月末までの就職者）

（％）

区 分	身 体	知 的	精 神
定着率	7 5	8 6 . 2	7 0 . 4

生活介護事業所 そよかぜの森

I 知的障がい者等向けサービス

1 日中活動

利用者の障がい特性や能力に応じ、個々が自分の力を最大限に発揮できること及び静かで落ち着いた環境の中で集中して活動に参加できることを目的とし、日々の活動に少人数のグループ制を取り入れました。

創作活動や音楽活動のほか、個別のニーズに合わせた個別課題を提供し、日々の充実と心の安定を図れるよう支援しました。

また、季節を感じられる行事や壁面装飾等を実施し、事業所で楽しめる活動の提供や社会経験の一環として近隣の飲食店での食事を楽しむ外食プログラムを実施しました。

2 生産活動

利用者個々の能力を評価したうえでグループ編成を実施し、一人ひとりの特性に合わせた作業内容を提供しました。

今年度は作業活動による工賃支給を3回行い、工賃支給日には努力賞として賞状をお渡しし、工賃支給を分かりやすく体感できるようにしたことで、働いたことの成果とその喜びを一緒に感じることができました。

3 健康の維持・増進

日課のラジオ体操、運動プログラムによる筋力・体幹トレーニング及び少人数のグループ制での近隣の散歩等により基礎体力の向上を図りました。また、適宜体力測定を実施し、個々の身体能力の評価を行いました。

4 食事サービス

給食委託業者と連携し、徹底した衛生管理・栄養管理の下、安全かつ栄養バランスの取れた食事を提供しました。

また、楽しみや季節感を意識し、メニューを選択できるセレクトメニューの実施や行事食の充実に努めました。

5 送迎サービス

利用者宅を考慮した独自の送迎ルートにより、法人所有の中型バスで草加市内を循環するスポット送迎を実施しました。また、乗車時の健康状態確認、アルコールによる手指消毒を実施しました。

II 重症心身障がい者向けサービス

1 日中活動

利用者個々の能力や興味及び障がい特性を考慮した創作活動、講師による音楽療法や季節を感じられる行事のほか、ボランティアによるムーブメント活動やミニコンサート、レクリエーション活動を実施しました。

また、スヌーズレンを定期的に実施し、視覚・聴覚・触覚等の五感を刺激することで心地よさを得られるリラクゼーション活動を実施しました。

2 身体機能の向上

嘱託医による定期的な診察と、理学療法士による専門的な理学療法と、その指導の下に計画された機能訓練を実施しました。訓練の実施にあたり、効率的に取り組めるよう訓練のスペースを十分に確保し実施しました。

3 食事サービス

給食委託業者と連携し、栄養バランスの取れた献立により食の楽しみや季節感を感じるとともに、徹底した衛生管理・栄養管理のある給食を提供しました。

また、利用者の障がい特性を考慮して、刻み・ペースト等の加工を行い、個別に対応した食事提供を行いました。

4 送迎サービス

送迎を希望する利用者を対象に安全に配慮したドア to ドアによる送迎を行いました。

また、定期的にドライバーと会議を実施し、送迎コースや運行時間などの見直しや安全運転に配慮した運行及び添乗職員とドライバーの連携に努めました。

5 入浴サービス

ご自宅での入浴が困難な方を優先として、身体機能に配慮した特殊機械浴槽による入浴サービスを実施し、介護者の負担軽減と身体の衛生保持に努めました。

6 医療的ケア

嘱託医による定期的な診察を行うとともに、主治医からの指示・指導を受け、ご家族の同意の下、看護職員等による喀痰吸引及び経管栄養等の医療的ケアを実施しました。また、介護福祉士による喀痰吸引等の業務においては、安全かつ適正に実施できるよう喀痰吸引業務等安全委員会を年2回実施しました。

III 日中一時支援事業

利用者家族の就労支援及び日常的に介護している家族の一時的な休息を確保するとともに、家族の緊急時における利用者の一時預かりとして、日中一時支援事業を行いました。

IV 健康管理

嘱託医による定期的な診察の実施と看護職員によるバイタルチェック等から利用者の健康状態を把握し、必要に応じて、電話連絡等による主治医及び関係機関と連携を取り、情報共有と利用者の健康管理に努めました。

なお、感染症予防に努め、利用時の健康状態を確認するとともに感染症予防対策の研修等を実施し、施設内の換気や消毒を徹底しました。また、嘱託医と連携し、インフルエンザワクチン接種を事業所で接種できるよう支援しました。

V 相談援助

利用者や家族等からの相談に対し、個人面談や電話相談を実施し、必要に応じて関係機関と連携し迅速かつ適切な対応をしました。

また、家族懇談会を実施し、家族との交流の機会を設けました。

VI 地域交流

缶つぶし作業による近隣事業所への空き缶回収や換金業者への訪問等、継続して交流ができるよう積極的に取り組みました。

また、実習生を受け入れることで、事業内容や障がい者への理解を深め、誰もが支援者になれる意識を持てるよう取り組むとともに、利用者と実習生が関わることで双方に刺激となるコミュニケーションがとれるよう支援しました。

(生活介護事業)

(1) 利用者入退所状況 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
知的 障がい者	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
	在所者	16	15	15	15	15	14	14	14	13	13	13	13	
重症 心身 障がい者	入所者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退所者	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	在所者	17	17	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	
在所者合計		33	32	31	31	31	30	29	29	28	28	28	28	

※ 前年度末在所者数：34 人

※ 令和 6 年度年間利用者延べ人数：5,841 人

(2) 障害支援区分別 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

(単位：人)

区 分	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	合 計	平均支援区分
知的障がい者	0	2	6	5	13	5.6
重症心身障がい者	0	0	0	15	15	
合 計	0	2	6	20	28	

(3) 年齢別分布表 (令和 7 年 3 月 31 日現在)

①知的障がい者

(単位：人)

年 齢 性別		18 歳 }	20 歳 }	30 歳 }	40 歳 }	50 歳 }	60 歳 }	合計	平均 年 齢
		19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳			
男 性		0	2	1	3	1	1	8	41.6歳
女 性		0	2	2	1	0	0	5	33.0歳
合 計		0	4	3	4	1	1	13	37.3歳

※ 最少年齢 26 歳 最高年齢 60 歳

②重症心身障がい者（令和7年3月31日現在）（単位：人）

年齢 性別	18 歳	20 歳	30 歳	40 歳	50 歳	60 歳	合計	平均 年齢
	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳			
男 性	0	6	0	1	0	0	7	26.4歳
女 性	0	7	1	0	0	0	8	25.6歳
合 計	0	13	1	1	0	0	15	26歳

※ 最少年齢 22 歳 最高年齢 39 歳

(4) 送迎サービス・入浴サービス利用実績

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
送迎サービス	1,076	1,027	904	965	940	835	973	856	865	817	780	778	10,816
入浴サービス	66	72	59	61	65	58	75	56	62	61	55	51	741

(5) 医療的ケア実施状況

（単位：人）

内 容	人 数	前年度実績
喀痰吸引	5	7
経管栄養	6	8
呼吸器管理	1	2

(6) 主な活動状況

月	内 容
毎 月	・エアロビクス（講師依頼）・運動（筋力トレーニング、卓球、他） ・音楽療法（講師依頼）・歌、楽器演奏 ・園芸 ・作業活動 ・リラクゼーション（散歩、外気浴、足湯、スノーブレン、他） ・アート（創作、絵画、壁面装飾、他）・レクリエーション
4 月	訪問理美容（偶数月実施）
7 月、8 月	ウォーターレク・夏祭り
10 月	ハロウィンイベント
11 月	運動会
12 月	クリスマス会、クリスマスコンサート
1 月	初詣
2 月	レイクタウン外出・ボウリング外出・保護者懇談会
3 月	外食

(7) ボランティア受け入れ状況 (単位：人)

活動内容	活動日数	延べ人数
音楽ボランティア	9 日	9 人
活動ボランティア	9 日	9 人

(8) 日中一時支援事業利用実績 (単位：日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
知的障がい者	0	5	4	4	1	2	6	0	4	0	0	0	26
重症心身障がい者	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	2	6	5	4	1	2	6	0	4	0	0	0	30